

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-64

No.	内容	対応案
90	<p>意見</p> <p>1. 私はハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道(高速道路建設計画)・新ルート案に反対します。計画の見直しと現道(既存の道路)を活用した道路総合整備に基づく国道141号の改良と整備を求めます。</p> <p>2. この不要不急の大型公共事業であるハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのないハヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります。このハヶ岳南麓の環境破壊の恐れがある中部横断自動車道新ルート案を見直し、ハヶ岳南麓全域の環境保全を求めます。</p> <p>現在、富士周辺や笛吹市、北杜市等においても太陽光発電施設(メガソーラー)の建設が環境保護や景観保護等に関わる規制やガイドラインが明確に定められないままに、いたるところで森林伐採が行われ、環境と景観保護の点からも関係自治体・地元市町村が対策のために国・県に働きかけています。</p> <p>ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mlに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると思われます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり、このハヶ岳南麓を横断する計画を到底容認することはできません。</p> <p>3. 昨年6月27日開催の国交省社会資本整備審議会関東地方委員会ワーキンググループでの審議が行われましたが、いまだ関東地方小委員会には正式に答申受理がなされておらず、現在、審議内容及び関連する事項についての精査がされている段階です。こうした中で昨年7月16日に北杜市が北杜市中部横断自動車道の整備を前提とした活用検討委員会を開催したこと、そして現在も継続開催されていることに強く抗議し、開催中止を求めます。</p> <p>北杜市活用検討委員会のハヶ岳南麓新ルート(Bルート)を前提とした審議を直ちに中止し、新ルート案に反対する当該住民や別荘所有者等、ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設に反対又は懸念を表明している住民などの意見が広く反映されるよう、意見交換ができるくみづくりするよう要請します。</p> <p>4. ****には中部横断自動車道ハヶ岳南麓新ルート案に反対又は懸念する住民との直接対話する意見交換会を速やかに開催するよう求めます。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改良と整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ハヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道建設は、日本の国、山梨県や北杜市にとってのかけがいのないハヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧水群、生活環境などを含む環境全体を悪化させ破壊する大きな懸念があります」、「ハヶ岳南麓を横断する高速道路建設計画では、現在示されている範囲だけでも2車線幅と盛り土面積を含め約50mlに加え工事車両通行用面積、全長は長坂から八千穂間約34Kの面積で大規模森林伐採等が行われることになると思われます。その他、土砂崩れなどの災害など予測のつかない大規模な環境破壊の懸念もあり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
91	<p>私は*****の****です。</p> <p>仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョンのパブリックコメントを募集していたので感じたことを応募します。</p> <p>意見要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北杜市でつくる計画すべてに言えると思うが、最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然と文化が躍動する環境創造都市北杜市」であると考える。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う。 ・そういう視点で計画を見ていくと、文化の側面がまったく計画に無い。文化の無い北杜市のまちで良いのかと感じる。 ・また30年後、50年後の市の姿を想像するに、市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない。 ・中部横断自動車道は社会資本であるから市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこでハヶ岳パーキングとも運動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る。 ・沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR。 <p>取り敢えず感じたままに。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「最上位計画が「北杜市総合計画～人と自然と文化が躍動する環境創造都市北杜市」であると考える。当然この計画に沿ってまちづくりビジョンも企画されていかなければ、バラバラとなって混乱を招き意味を失う」という意見についてですが、北杜市まちづくりビジョンは、北杜市の既定計画を踏まえつつ、中部横断自動車道の整備を見据え、地域の現況や特色を整理した上で、地域活性化などに資するまちづくりのあり方や地域の取組の指針となるものです。</p> <p>「文化の側面がまったく計画に無い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、「文化・芸術」に関する文章を追記します。</p> <p>「市民や企業の参画が必ず必要になる。どのように関わって行くのか、関わって欲しいのかが見えない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、「民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組」に関する文章を追記します。</p> <p>「市内のエリアで主要道路からも利用可能な、サービスエリアもしくはパーキングエリアを確保して欲しい。スマートインターを併設すればインターチェンジ設置よりもむしろ良い。そこでハヶ岳パーキングとも運動して、北杜市の魅力、情報を発信。市内の産物も販売しブランド化、産地化を図る」、「沿線の産業との連携、BtoBにより経済の活性化、地域一体となつてのPR」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-65

No.	内容	対応案
92	<p>北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)のパブリックコメントとしてメールいたします。 中部横断道を作る前提の活用をご検討のことと思いますが、その前に道路の必要性を慎重に議論する必要があります。 新しい道路を作る前に、今ある道路の活用計画、改善計画、メンテナンス計画を練ってください。 中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマネ等の希少な動物の生息地が含まれています。高速道路との共存は難しいと思います。配慮すればよいというものではないです。 一度失われたものは二度と戻りません。 50年、100年先のことを考えて市政を行ってください。 税金の無駄遣いにならないよう、道路の必要性に戻って検討しなおしてください。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「中部横断道予定地には、フクロウなどの貴重な野鳥やヤマネ等の希少な動物の生息地が含まれています」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観(視点④)：貴重な動物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p>
93	<p>パブリックコメントとして検討いただきたいルートを提案させていただきます。(ルート図添付)なぜB案とは違うルートを提案する理由は、今のB案が北杜市民にとって最善とは思えないからです。 その理由①、ハケ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念。 その理由②、今のBルート案の公人の土地問題の不透明さ解消のためです。 *****は長坂接続が決定される前より中部横断自動車道整備促進山梨県峡北地域連絡協議会など建設を誘致してきました。当然市民が知りえない情報も入手できる立場の人です。 それは*****の*****も同じだと思います。この様な人たちが案としてのBルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題だと思えます。 その理由③、命の道としての欠点、命の道として*****、*****の提言がありますが、(発言資料1.2添付)Bルートは国土交通省の資料では、とうとう津金で90度方向を変え長坂に接続していますが、素直に直線を引けば須玉接続も可能です。 消防署に話を聞くと重度の患者やけが人は甲府の救命救急センターへ運ぶそうです。 直線で結ぶルートならば5分短縮できるので清里、津金地区の人は須玉や双葉に接続した方が命の道だと思います。 私が提出するルート図は以前に沿線住民の会の*****と*****が道路に関しての方の協力で創り上げたものです。このルートは①、②の問題を解決できます。③については双葉や須玉に接続することが命の道だとは思いますが、国土交通省は須玉の坂の勾配を気にしているのであえてクラインガルテン方面に曳きました。 このルートの良いところは立ち退きを迫られる家が少なくなる点です。 活用検討委員会で審議いただきたく提出いたします。 (添付資料(ルート図、知事、及び市長発言資料の3枚))</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「ハケ岳パーキング、中部横断ジャンクション、長坂インターの間隔が狭すぎてそれぞれの間隔が1キロとれず高齢者の判断ミスにつながり重大事故発生の懸念」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①：安全・安心の確保に向けて」に基づき取り組んで参ります。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなります。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人の土地問題」、「Bルート帯に土地を所有していれば、公共事業としての政策が公平性に欠け問題」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>
94	<p>●パブリックコメントを提出いたします。平成26年1月31日 Bルート案は北杜市民として公平性に欠けた案だと思います。地方自治体としての北杜市(公共機関)が推進するルート帯の中に公人としての建設推進をする*や*の土地が有ることが問題だと思います。 証拠として2通登記簿謄本を添付します。(これは一部の土地です)。 又この土地は県民、市民に資産公開されています。活用検討委員会メンバーや家族などの名義の土地を合わせると約43,908坪(144,899㎡)となります。たまたま入っていただけと国土交通省の*は言いますが、資産公開されている北杜市の公人の土地全てが(*の自宅だけが外れている)、前のルート帯3km幅でも今回のBルート帯1kmでも中に漏れずに入っている。この偶然を市民はどの様に思うのか。資産公開されている北杜市の土地はルート外には存在しない偶然? 活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました。中部横断自動車道活用検討委員会で公平性をお考えください。(なぜ*****はこの土地を国土交通省に隠していたのか?) (登記簿2通添付)</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、「まちづくりビジョン」を審議することから、地域の代表者や地域の主要産業である観光、商工業及び農業などの分野から委員を構成しています。多様な立場から意見を賜り、委員による合議制により審議を行うこととなります。 また、「まちづくりビジョン」は、委員のみの意見にとどまることなく、地域の皆様を対象に複数回にわたる意見の把握を行い、それらの意見を踏まえながら策定していくこととなります。 さらに、検討委員会は、「北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱」に基づき公開で審議されているところであり、検討委員会の開催や審議結果などの情報は北杜市ホームページに掲載し、透明性を確保しながら審議を行っています。 こうしたことから、「公人としての建設推進をする*や*の土地が有ることが問題」、「活用検討委員会のメンバーの土地については、毎日新聞で問題だとし記事にもなりました」、「中部横断自動車道活用検討委員会で公平性」という意見について、検討委員会の目的達成に当たっては、問題がないと認識しているところです。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-66

No.	内容	対応案
1	<p>国土交通省の官僚に対して 「中部横断自動車道」については、「国土開発幹線自動車道建設法」という法律に組み込まれているが、そのうちとくに「北部区間」と呼ばれる「長坂～八千穂」間については、現在のところ、その法律の中で言う「基本計画」の段階であるため、工事を着工することについては国権の最高機関である「国会」での議決がなされてはいない。したがって、当然予算も付いてはいない。</p> <p>そのような状態で、われわれ主権者の代表でもなく公僕でもない国土交通省の二名の官僚が、「計画段階評価」あるいは「調査検討」の段階であるといつてもあたかも当該道路事業の実施がすでに決まっているかのように振る舞って、あるいは実施を前提としているかのようにして、北杜市の住民の意見を聞くというのではなく、主権者である「地元」の住民に対して「説明」する会を持つなどというのは国賊行為であり、民主主義政体に対する反逆的行為である。</p> <p>なぜなら、国交省の官僚のやっていることは、この国が内外に向けて公式に採用している国会を国権の最高機関とする「議会制民主主義」という政治原則に反逆する、「やってはならない行為」であり、「国を乱す行為」でもあるからだ。</p>	
95	<p>2.また、当「パブリックコメント」の実施主体である「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会」（以下、単に「検討委員会」と呼ぶ）の委員を選任している北杜市役所建設部道路河川課（以下、単に「担当課」と呼ぶ）の***は、やはり公僕という立場でありながら——本来、これも公僕が議会の承認もなくやってはならない行為なのである——、その委員の選任にあたって、どういう客観的根拠に基づいて委員を選任しているかその根拠を明らかにせよと要求しても、「北杜市中部横断自動車道活用検討委員会設置要綱」という名の委員会構成と当委員会の構成員の肩書きと人数を示すだけでなく、肝心のそれを今もって明らかにしていない。</p> <p>それだけではなく、驚くべきことに、「担当課」の***は、この道路がもし建設されたなら最も大きな被害や影響を受けることがはっきりしている住民からなる幾つかの団体の皆さん（以下、「直接関係住民」と呼ぶ）がこの検討委員会に加わることを幾度となく要望しているにも拘らず、「直接関係住民の意見は聞いていますから」の一点張りで、それを拒み続けている。</p> <p>「直接関係住民」とは、たとえば、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会」や、「中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会」そして「八ヶ岳南麓景観を考える会」等の皆さんのことを意味する。</p> <p>さらに驚くべきことに、「検討委員会」には最も加えるべき団体の関係を意図的にボイコットしながら、「担当課」の***そしてその上部の「建設部の***は、当該道路の着工については既述のように「国会」ははまだ議決もしていないのに、ということは全国の主権者は承認もしていないのに、この横断道を企画してもっとも建設しがっている国土交通省の最先機関である「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所代表者」という官僚を加え、さらにはこれも中央の官僚たちが中心となってつて来た「タテ割り制度を公然化する中で、官僚の意のままに動く「山梨県県土整備部道路整備課高速道路推進室代表者」と「山梨県中北建設事務所峡北支所代表者」という山梨県庁の最先機関の役人を委員に加えるなどしている。</p> <p>要するに、「検討委員会」は、最も重要な「直接関係住民」という主権者を除外しながら、霞ヶ関の官僚、山梨県庁の役人、北杜市役所の役人という、いずれも「公僕」だけで取り仕切れる場となっている。</p> <p>文字どおり主権者抜き「官僚と役人の独裁」の場なのだ。これ自体、「間接暴力」の、あるいは「非公式暴力」の行使であり、公僕として絶対にやってはならない国賊行為であり、主権者に対する反逆的行為なのである。なお、公平のために言えば、「検討委員会」には、一応、「市民代表者（計8名）」および各種団体代表者（計3名）」が加えられているが、その人たちは、いずれも、自分が代表している管轄下の住民全員あるいは自分が所属している団体の全体の意見を聞く場を公式にもって、それを集約して当「検討委員会」に参加しているのではないことは明らかである。</p> <p>今回の、このパブリックコメントはそういう背景の下につくられ、企画されたものであることを知った上で、「(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」および、「同 策定にあたって寄せられた主な意見の例」を見ると、これだけで「パブリックコメント」という名の「住民の声」を聞くとするのは、どう考えても、メチャクチャだと思つた。</p> <p>「北杜市」合併直前のアンケートもそうだった。「北杜市都市(まち)づくり計画(基本方針)」と「北杜市景観計画」を策定するとぶち挙げたときもそうだった(平成19年12月)、「北杜市まちづくり計画」(平成22年12月)もそうだった。そして、立派な「北杜市まちづくり計画概要版」(副題:秩序ある土地利用推進のためのガイド)を出したときもそうだった。</p> <p>まともな都市計画も土地利用計画もないまま、ただ道路の拡幅・新設、森林伐採という乱開発だけが進んでいる中、何が実現したというのか。いたずらに金と時間とエネルギーを浪費した「計画」ばかりを次から次へと北杜市役所は出すが、では何が実現したのか、しなかったのか。しなかったとすれば何が原因で実現しなかったのか。その原因は解決の目処は立ったのか。次の計画ではその原因除去のための課題が引き継がれたものとなっているのか。……</p> <p>こうしたことが実は最も重要なことなのに、肝心のそれは全く放置し放たされた。</p> <p>実際、今回、私たち住民から「パブリックコメント」を聞こうとしている土台となる(仮称)中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(案)概要版)をみても、都市計画とは何か、土地利用計画とはどういうことかについて、勉強した後などまったく見られず、言葉さえ知っていたなら、中学生でも思いつきで書ける項目ばかりだ。</p> <p>しかも、これも驚くべきことだが、「中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン」と言いながら、そして「ビジョン」とは「未来像」のことであり「見通し」のことであるにもかかわらず、このビジョンには、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどのように予想されるのか、という最も肝心の「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない。</p> <p>つまり、「パブリックコメント」を寄せると言われても、私たちにとっては、客観的に信頼できる判断材料がないのだ。</p> <p>そんな状態で意見を聞くという自体も、主権者を愚弄した話だ。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「この道路がもし建設されたなら最も大きな被害や影響を受けること」に関しては、北杜市全体がうける様々な影響と捉えました。これにつきまして、まちづくりビジョン(素案)P10の基本理念、P11のまちづくりビジョンの基本方針・視点、P12～P19の分野別の基本方針・視点に基づき、取組んで参ります。</p> <p>「ビジョン」には、中部横断自動車道が北杜市を貫通したなら、今の北杜市は、環境・景観・市民生活・交通事情・経済はどのように予想されるのか、という最も肝心の「見通し」については、科学的で都市計画的で定量的な分析は全くない」に関しては、今後の審議の参考意見とさせていただきます。</p>
3.	<p>では、一方、本日平成26年1月31日までの間、私たち主権者に選挙で選ばれた政治的代表である「北杜市議会議員」および「山梨県議会議員」は何かをして来たか。</p> <p>この「中部横断自動車道」の問題は、遅くとも平成23年2月の時点の「国土交通省関東地方整備局甲府河川国道事務所」主体の関係住民への「第1回アンケート」が実施されたときから表面化して来た問題である。</p> <p>ではその後、彼等議員たちは、選挙で選ばれた時点で自分たちに課せられた「政治的代表」としての役割・義務を果たして来たか。</p> <p>一向に果たしてはいないし、果たそうともしていない。</p> <p>既述のように、もっぱら「執行機関」である北杜市役所の役人=公僕に放任した格好で来ている。</p>	

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-67

No.	内容	対応案
	<p>たとえば、議会つまり、*****、および関係*****として当然すべき次のようなことは、一切して来ていない。「この中部横断自動車道の問題について、北杜市住民の皆さんの声を正式にお聞きする公式の場を設けますから、どうかそこに一人でも多く参加して下さい、率直な意見をお聞かせいただきたい。その皆さんの声をしっかりと受け止め、それをもって議会で慎重に議論あるいは審議し、少数意見を尊重しながら議決し、その結果を執行機関である北杜市役所に、これが北杜市住民の総意であるとして、その議決内容を北杜市地方公共団体としての公式の政策として、執行させます。」</p> <p>していないどころか、むしろ、議員たちは、誰も、公僕であり、執行機関の担当者人に任せっ放しなのだ。</p> <p>本来ならば、北杜市議会議員も、山梨県議会議員も、昨年、11回にわたって行われた国土交通省の官僚二人の主導の下に行われた「地元説明会」に対しても、国会でいまだ議決を見ていない事業なのだから、「自治」体としての北杜市の立場から、あるいは山梨県としての立場から、「あなた方(公僕)がそんなことをすることは許されないことなのだ。私たちが意見を聞くと言ってそれを直ちに中止させ、自分たち議員が、そこに集う住民の前に出て、取り仕切るべきだった。</p> <p>つまり、北杜市役所の役人は、本来してはならないこと、許されないことを、霞ヶ関の官僚に従属して行っており、北杜市議会議員は、本来自分たちが果たすべきことをせず、むしろ執行機関である北杜市役所の役人、あるいは国土交通省の官僚に対して、「国のやることだから」と、「国」とは本来「国民」のごとであることも知らずに、ひたすら従属している。</p> <p>なお、追加すれば、昨年6月、議会が議決したことになっている「当該横断自動車道は推進」とのものは、その決議に参加した議員は、それぞれが、公式に関係住民の意見や要望を聞かないままの議決ゆえに、全く無効である。</p> <p>私たち主権者は、議員が立候補時に掲げた「選挙公約」以外には、議決権を行使する権力も権威も与えてはいないからだ。</p> <p>私たちは、議員に、権力・権威を白紙で付託しているわけではない。</p> <p>4「長坂～八千穂」間の「中部横断自動車道」の建設を望んでいらっしゃる北杜市住民の皆さんにお願いします。</p> <p>もはやこの国の借金1000兆円を超えていることは先刻ご承知のことと思います。そして今のままですと、その借金は、私たちの子や孫にそのままツケ回されてしまう可能性が大了。</p> <p>そうでなくとも、将来世代が担わされるものは、今の私たち現在世代が残すことになるであろう「負の遺産」ばかりです。</p> <p>超巨額借金、汚染され破壊された自然環境。温暖化によって気候変動と異常気象の激化した地球。少子化による若者一人当たりの負担の激増。枯渇間近な化石燃料。半永久的にその安全性をチェックし、テロリストの標的になることを防がねばならない、54基の原発の地下に眠る莫大な量の使用済み核燃料、……。</p> <p>こういう事情を少しでも理解され、思いやりの心をお持ちなら、せめて、「道路を造ってくれと望む以上、その建設費は俺たちが、俺たちの代で払う。もこれ以上政府に借金はさせない」といった覚悟を持つとうではありませんか！</p> <p>そうでなかったら、皆さんのお子や孫たちは、そして私の子どもたちも、余りにも可哀相です！</p> <p>それにもう、客観的状況は、「その高速道が出来れば便利だから、快道だから」という言い分は、理由にもならない状況に至っていると思うのです。</p> <p>以上</p>	
96	<p>1.中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)について</p> <p>時間軸の記述がありません。仮に今年B案が決定されたとして、実際に竣工供用開始されるまで最低でも15年はかかるかと聞いています。このビジョンは、高速が完成した後の姿まで描くべきですが、そういった時間軸の記述が全くありません。これは具体的実行を考えていないと指摘されても仕方ありません。</p> <p>2.中部横断自動車道計画について</p> <p>(1)B案について</p> <p>そもそも問題点である、現在までに至る意思決定手続、及び計画そのものの可否については、中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会、中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会などが何度も提言等していますので、ここでは繰り返しません。</p> <p>(2)対案について</p> <p>B案は急ごしらえの感が否めないルート案です。そもそも、当初の案1・案2が事実上の白紙撤回されたのが2012年10月4日の関東地方小委員会、A・B案が提出されたのが2012年11月21日の第1回WGで、実際は国土交通省の事務方が検討していたにせよ表舞台での検討期間が2ヶ月弱しかありません。国土交通省は、A・B案も、第1回及び第2回アンケートで提示した数キロ幅のルート帯に入っており唐突なものではないと説明していますが、第2回アンケートであれだけ様々な異議が出され2012年7月7日の現地説明会上でも異議が述べられていたのですから、当初のルート帯にこだわる必要はないと思います。</p> <p>B案は、南麓の環境や景観にマイナスだという指摘が既にされており、それは全くそのとおりですが、最大の問題点は以下です。</p> <p>(i)大門ダム付近で急に西に折れ、長坂IC付近に接続させるルートのため、中部横断道の本来の事業目的である東京や静岡方面へのアクセス改善効果が大幅に減殺され、よくわからない理由で妥協させられたようなルートであること。</p> <p>(ii)141号及びレインボーラインと交差する地点にICを設置することにより南麓主要観光地へのアプローチが改善され過ぎ、南麓は確実に通過型観光地になる。結果、観光業は大幅に衰退する。高速ICからやや距離のある軽井沢などの観光地の方が滞在期間が長くなることは自明の理。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「時間軸の記述がありません」、「このビジョンは、高速が完成した後の姿まで描くべきですが、そういった時間軸の記述が全くありません」に関しては、今後の中部横断自動車道活用検討委員会の進め方の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「B案は、南麓の環境や景観にマイナスだという指摘」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「大門ダム付近で急に西に折れ、長坂IC付近に接続させるルートのため、中部横断道の本来の事業目的である東京や静岡方面へのアクセス改善効果が大幅に減殺」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号及びレインボーラインと交差する地点にICを設置することにより南麓主要観光地へのアプローチが改善され過ぎ、南麓は確実に通過型観光地になる。結果、観光業は大幅に衰退する」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄關口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号線全線を改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-68

No.	内容	対応案
	<p>これを解決する対策は以下のようなものが考えられます。</p> <p>a 高速ではなく一般自動車国道とし、141号全線を改良(南麓の会、沿線住民の会等が主張している方式)</p> <p>b どうしても高速を建設したいのなら、</p> <p>(a)野辺山から141号線東側に入り、そのまま南下させ、須玉IC東側で中央道に接続するルート</p> <p>(b)野辺山から141号線東側に入り、そのまま南下から緩やかに東方向にカーブ、明野町を通過して韮崎方向までルートを伸ばし、双葉JCT付近で接続するルート</p> <p>(c)上記(a)(b)が建設費の関係から実現困難であれば、B案を南にずらし、北杜市太陽光実験施設から少し須玉IC寄り部分のところで中央道に接続するルート</p> <p>B案ありきでなく、市及び市民にとってベストの案は何か、しかも20年後の姿を睨みつつ考える、これが今必要なことです。</p> <p>問題は、市検討委に、これらのことを考慮する権限や能力、実現しようとする意欲、そして国土交通省に諮る気があるかどうかです。</p> <p>3.北杜市の景観について</p> <p>上記まちづくりビジョン(素案)の中に、北杜市の景観について触れられている箇所があります。市には景観条例があります。かつて**が、中部横断自動車道八ヶ岳南麓の会と対話した際、同会*****が、「北杜市景観条例に市の景観保全に関する責務既定があります」と指摘したところ、*****は、「条例に書かれているのは建前であって、現実はまだ別であり運用でどうにでもなる」と発言したとのことです。**は北杜市を「大いなる田舎」と呼び、大変いいことだと思っていたのですがその一方でこのようなことを発言するのは大変残念なことです。</p> <p>北杜市の宝は言うまでもなく八ヶ岳南麓の環境と景観であり、これは市の主要産業である観光業の最大の売り材料であります。その景観で問題が起きていることはご承知のとおりです。既に市景観計画などが策定されていますがこれはまだ不十分であり、最低でも軽井沢くらいの取り組みはすべきです。最低でも下記のことを2014年中に実現されるようお願いいたします。</p> <p>(1)レインボーライン以北は景観保護地域とし、道路等公共施設、道路標識、屋外広告・看板等、他を照らす照明などは、朝日が丘景観保護地区(高根町清里)や、風致地区またはそれ以上の規制を敷き、地域の価値を守り高める。</p> <p>(2)また、レインボーライン以北では一定面積以上(概ね500平米か)の太陽光パネル装置、メガソーラー等の設置を認めないとともに、以南も一定の規制を敷く。</p>	<p>「北杜市を「大いなる田舎」、「北杜市の宝は言うまでもなく八ヶ岳南麓の環境と景観であり、これは市の主要産業である観光業の最大の売り材料」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
97	<p>「(仮称)北杜市中部横断自動車道を見据えた北杜市まちづくりビジョン(素案)」ですが、環境・景観、くらし、地域活性化、観光の分野別に基本方針・視点を分かり易く概要を明示されています。この視点はもちろんのこと災害時の対応面からも、兎にも角にも早期の実現(着工・完成)を強く望みます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「もちろんのこと災害時の対応面からも」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
98	<p>やはり、どう考えてもこの地域に高速道路を通すのは無理があります。</p> <p>○まず国策といっても、新しい高速を作ることに、もう一度検証がいるのに検証を怠っていること(人口減、財政難の部分を引きつと議論していない)</p> <p>○北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこたわって行っている農家があるが、移住者が多くなるにつれて、東部や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致して、141号を通るとそこに立ち寄ってもらえるような魅力的な街づくりをして、危ないところ、高速に直接入る部分としてはバイパスにしたりして、141号をもっと活用できるような街づくりをしていかなければ、高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている。</p> <p>○北杜市の未来を見据えて貴重な意見も無駄にしないで欲しい。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所業外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「北杜市のこの地域は自然の素晴らしさをもとめてくる、移住者、観光客、別荘所有者が多く、また農業をこたわって行っている農家があるが、移住者が多くなるにつれて、東部や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致して、141号を通るとそこに立ち寄ってもらえるような魅力的な街づくりをして、危ないところ、高速に直接入る部分としてはバイパスにしたりして、141号をもっと活用できるような街づくりをしていかなければ、高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「東京や他の都市から成功している飲食店やストリート型の店舗などを誘致」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に位置づけております。</p> <p>「高速インターを作ってもそこから観光客は呼び込めず、通過点と化してしまうことは目に見えている」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
99	<p>中部横断自動車道へのパブコム八ヶ岳に新しい自動車道路を作ることは反対である。</p> <p>道路は、もう十分ある。これ以上の便利さは、いらない。</p> <p>自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、膨大な時間とお金がかかる。</p> <p>そもそも、自動車道を作るという前提で、パブコムを取ることも自分がおかしい。</p> <p>最悪、どうして新しい自動車道が、欲しいというのであれば、現在の141号線を改修工事すればよい。現在でも、141号線の交通量は、それほど多くない。</p> <p>もうこれ以上、自然破壊を行うことは、公共工事の名に値しない。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所業外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「自然の破壊は、簡単であるが、自然の再生には、膨大な時間とお金がかかる」、「もうこれ以上、自然破壊を行うこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「現在の141号線を改修工事すればよい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-69

No.	内容	対応案
100	<p>「まちづくり」には、「行政の住民に対する誠実な対応」が根底に必要になります。住民と行政の間に「不信感」があっては、より良いまちづくりはできません。またまちづくりには、目に見えるものばかりではなく、目に見えない「住民の精神的なもの」が重要になります。そして行政は住民に対して、誠意を持って偽りなく、平等に、アンケートや調査を行った上でこそ、「素晴らしいまちづくり」は可能である。住民たちや別荘所有者や全国のハケ岳ファンと十分に意見交換の場や時間を設けて、正直な意見を誠実に取り入れることをしなくては、よりよいまちづくりなど成功しません。</p> <p>北杜市公務員の方達は、本気で「よりよいまちづくり」を目指していますか？住民や別荘所有者、全国の数万人のハケ岳ファンは注目しています。ごまかしや不正は、今の時代は隠しきれません。</p> <p>「より広い視野」を持って、全市民を配慮して、まちづくりを進めて行かなければならない。毎年、国交省の方に同じ質問をしています「なぜ、この北杜市に人が最も少ない冬季に、アンケート調査やパブリックコメントを募集するのですか？」よほど自信がなくて、隠密に済ませたいアンケート調査なのでしょうね。</p> <p>パソコンを持っていない老人や、地域の自治体に属していない住民たちは、特に寒いこの時期は外出もできないので、このような中部横断道に関するパブリックコメント募集のを知ることはできません。</p> <p>高速道路みたいな大きな問題に関するアンケート調査なのに、関係住民に知らせることができなかったのは、北杜市側の不手際と落ち度ですね。私達の血税が膨大に使われる問題なのですから、そんないいかげんな住民調査だけで済まさないで下さい。</p> <p>平成24年9月の「地方小委員会ワーキンググループ会議」で、*****がおっしゃったように、「国交省が平成24年に北杜市で行った『ちやちやアンケート調査』の内容と、集計のやり方は不誠実であり、ひどすぎる！！」と*****も呆れておられました。</p> <p>*****を始めとして北杜市民や、別荘所有者たち、建設反対に署名した1万4千人は強い憤りを感じている。よって、この度のルート変更後の「B案ルート」に対する住民アンケートを改めて行う義務が、国交省や山梨県、北杜市にはある。</p> <p>また*****も今年の年頭に「広報ほくと」で語っていたように「現在は北杜市は財政難」である。</p> <p>どれだけの借金を、北杜市民は本意に背負わなければならないのでしょうか？北杜市内の中部横断自動車道は『141号線の整備拡充か、141号線沿いに高規格道路化』にした方が、大幅に経費を削減できるので、財政的にも景観的にも良く、そして何よりも「住民にとって一番利用価値の高い形」になる！</p> <p>*****も「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線に沿った高規格道路にするのが一番よい。」とおっしゃっていた。30年も前に出された中部横断自動車道の高速作り案を、なぜ今実行しなければならないのか？？住民たちは、「*****がなぜ説明して下さらないのか？」大いに疑問である。</p> <p>是非、*****に説明会を開いていただきたい。</p> <p>北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない。</p> <p>またB案ルート沿いには、肺癌治療の為や、化学物質過敏症のために、大気汚染や化学物質の影響が少ないという理由で、わざわざ移住してきた病人の住人も多い。そのような病人の方達の意見を無視して、素晴らしいまちづくりができるのでしょうか？</p> <p>またもしその病状が悪化した場合の補償は、どこがしてくれるのでしょうか？</p> <p>また「震災対策の為に高速道路」という子供だまし的な常套文句は、今や全国で問題視されているが、本当に住民の生命の危機を考えているならば、「新しい高速道路を作る前に、即刻北杜市内の国道141号線を整備改修すべきである」</p> <p>141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる。</p> <p>この141号線の危険な状態は、国交省甲府河川事務局の*****の*****も、平成25年2月の住民意見交換会で認めている。北杜市には作られてから半世紀(50年)を超えている橋などのインフラがどれほどあるのか、県や市は把握しているのだろうか？老朽化インフラの改修を急ぐ責任が山梨県や北杜市には大いにある。</p> <p>それとも再び「笹子トンネル事故」のような惨事が起こるまでは、見て見ぬふりをするのだろうか？</p> <p>そのようなことが全国民に許されるはずがない。</p> <p>老朽インフラ整備にどれだけの経費が必要なのか、北杜市は算出できているのだろうか？</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「141号線の整備拡充」、「141号線には崩落の危険性などがある場所が多く見られる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の生命線である観光・農業・商業のためにも、これ以上、北杜市の環境の素晴らしさを失ってはならない」、「大気汚染や化学物質の影響が少ない」、「自然のままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光にきたり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね?」、「景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです!!」、「高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>また、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「澄んだ空気」という文言を追記します。</p> <p>「これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-70

No.	内容	対応案
	<p>来年度の老朽インフラ整備のための予算額を計上し、市民に発表していただきたい。 高速建設ではなく、まずは老朽インフラの改修と整備を行うことが、「北杜市のまちづくり」の第一歩であると言えよう。 山梨県の公務員の方達は、『現代は「インフラを『作る』という時代から、老朽インフラを『繕う』時代に移行したことを、早く自覚していただきたい。一部の利権者による、目先の私利私欲や地位名誉のために、これ以上北杜市の借金を増やしたり、北杜市民の財産を奪わないでほしい。少子化時代なのに、これ以上借金を増やしてしまったら、将来もう北杜市に住みたいと思わなくなるであろう。すると北杜市の過疎化はさらに進んでいくであろう。明野処分場のように、55億円という「とんでもない額の借金」を残して、責任が取れないような無責任で先が計算できない**たちは、恥を知り、新しいまちづくりに参加しない方がよるしいのではないか？北杜市役所の皆さん、どうか未来に禍根を残さないような選択をする勇氣を持ってください。北杜市に安心して住めるようになるかどうかは、今の大人達の責任です。自然のそのままの姿を愛して、きれいな空気を求めて、観光に来たり、移住してきたり、登山をしたりする人達は北杜市に来るのですよね？北杜市に高速道路ができて喜ぶ人は「ただ長野に早く行きやすくなる」という理由だけでですね。北杜市は通過されるだけです。***、公務員の皆さん、なぜ観光客や移住者が北杜市に増えているのか、その理由を当然ご存知ですよね？景色だけではなく、目に見えない「空気」や「静けさ」、そして美しい星を見るための「夜の暗さ」が重要なのです！！だとしたら、高速なんかできたら、北杜市の貴重な資産が失われてしまいます。どうか「北杜市内の中部横断道は、高速道路ではなく、国道141号線を整備拡充するか、141号線に沿って高規格道路化を進めること」を希望します！北杜市に高速道路は、これ以上必要ありません。以上、よろしくお願ひ申し上げます。</p>	<p>「北杜市は通過されるだけです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針：にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
101	<p>ハヶ岳デイズ2012年冬号に、****の言葉が載っている。 テーマは、移住・二地域居住のススメ 活用検討委員会は、この**の言葉を実現すべく活動して欲しい。以下、その言葉を列記する。 「観光という字は、“光を観る”と書くが、その光とは、今日的には健康志向や環境思考などという気がする」これからの時代に大切になっていく潜在能力や資源を備えているのがこの北杜市で、観光するだけに終わらせてはもったいない。暮らしてみたい魅力にあふれている。自然豊かなだけでなく、知的財産が蓄積し、文化的な側面があるのも北杜市の大きな特徴。北杜市にある文化施設は80とも言われる。「ここは一流の田舎まち。リタイヤ組ならもうひと咲かせ、大都会にいた若者はひと休みできる場所」。「各地からここに気に入って来てくれる人がいて、そんな人たちが地域の人と交流することが、土地の品格をさらに高めることに役立っている」独特のホスピタリティがある 今、北杜市で起きていることは、**が言っているように進んでいるのだろうか？暮らしてみたい魅力にあふれている。から各地からここに気に入って来てくれる人がいて、多くが南麓地域に移住して、その人たちが様々な活動をして土地の品格をさらに高めることに役立っているのではないか？独特のホスピタリティがあるから、都会のストレスや騒音・大気汚染で発症した病を癒しに、来たのではないか？この北杜市に、それも日本風景街道にも登録されているハヶ岳南麓に、高速道路を通そうとしている。風景が破壊され、地域が分断され、10年に及ぶ建設工事で空気が汚れ、騒音に悩まされる。移住してきた人が地域の人と交流することも、全く逆行している。もう一度、「ハヶ岳デイズ」で語った****の言葉をかみしめ、北杜市を一流の田舎まちにすべく実現しましょう。ブルート推進を提言したのは、きっと魔が差したのでしょうか。それとも、今も魔が差したままなののでしょうか？</p>	<p>頂いたご意見の中で、「これからの時代に大切になっていく潜在能力や資源を備えているのがこの北杜市で、観光するだけに終わらせてはもったいない、暮らしてみたい魅力にあふれている。自然豊かなだけでなく、知的財産が蓄積し、文化的な側面があるのも北杜市の大きな特徴。北杜市にある文化施設は80とも言われる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針：魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「暮らしてみたい魅力にあふれている。から各地からここに気に入って来てくれる人がいて、多くが南麓地域に移住して、その人たちが様々な活動をして土地の品格をさらに高めることに役立っているのではないか？」、「北杜市を一流の田舎まちにすべく実現しよう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針：魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 「風景が破壊され、地域が分断され、10年に及ぶ建設工事で空気が汚れ、騒音に悩まされる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③：良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
102	<p>まだ中部横断道に関して最終決定していないのに、「中部横断道を見据えたまちづくり」のパブリックコメントを募集すること自体が、無駄でナンセンスであると思う。 ルートに関係なく、北杜市内に高速道路を建設することには反対です。 北杜市内では、中部横断道は高速道路ではなく、国道141号線を拡充整備するか、141号線に沿って、高規格道路化していただきたいです。 未来の子供達に、負の遺産を残さない努力をすることが、まちづくりを考える時に大切な配慮だと思う。 高速道路は、まさしく負の遺産になる。 少子高齢化の時代なので、市の借金を減らし、少しでも老人や若い人達が暮らしやすいように福祉を充実させた方がいい。 「高速道路があるまちづくり」なんて、現代ではナンセンスで、茶番劇のようである。 もっと時代に合った税金の使い方をするのは当然だと思う。 すなわち、「まちづくり」も高速建設前提ではなく、時代に合った現実的で有意義なアイデアを出さなければ、意味がなく、北杜市は衰退の一途をたどるしかなくなると思う。 私は北杜市を愛しているが、高速道路が進められたら、県外へ移住する予定です。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号線を拡充整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15「視点②：くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-71

No.	内容	対応案
103	<p>中部横断道に対しての私の意見です。 現状の建設ありきの考えには疑問を感じています。 これから、ますます少子高齢化が進むことが考えられますので今以上に車の台数は減るものだと考えると今の国道141で充分ではないのか？ 中部横断道が地元への願いでもあるとお話伺いますが、現状もみなさんがそのように考えておられるのでしょうか？ 国道交通省のアンケート結果は、反対意見が多かったと聞いております。 もう1度、本当に必要なか賛成派・反対派で議論する場を持ち、どうしても作るのであれば環境に配慮しルート案も見直す必要があります。 今ある自然は私たち人類が誕生する以前から変化を重ねて、現在の自然があります。 私たち人間の身勝手でもリニアもそうですが、破壊していい物なのでしょうか？ みなさまの子ども心で、もう1度考えていただきたいと思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「国道141号で充分」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「環境に配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「今ある自然は私たち人類が誕生する以前から変化を重ねて、現在の自然があります」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p>
104	<p>全国で官民等の協働を旗印に、「まちづくり」、「景観」といった国のソフト面のあり方を問うビジョンが作られつつあるのは、一般市民の一人として好感を抱いています。何処に居住していても、自分の地域が環境や景観に関心で、住民同士が殺伐とした関係であれば、誰も「おらが自慢のまち」とは感じられないでしょう。 今回のパブリックコメントには、北杜市を愛する市民からたくさんの意見が寄せられることと思いますので、あえて重複する可能性を避け、私なりの感想を述べさせて戴きます。 目下私は、2週間ほどの予定で病気治療のために新横浜に滞在中です。 此処は、数十年前は広大な緑地と農地があった地域でした。それを巨大なコンクリートのスタジアムやアリーナ、ホテル、ビル群が建ち並ぶ小都会へと造り変えたのは、当時新時代を切り拓いた新幹線の新駅建設です。当然のことながら、人口も飛躍的に増加したはずで、日本には類似例があちこちにあるでしょうし、「それなりに成功した都市づくり」として幸運なケースだったと思います。しかし、この先行き不透明な時代に、北杜市のようなマイナーな自治体の場合はどうでしょうか。 元々見るべきものがほとんどなかったような地域ならいざ知らず、合併後の北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。一度根幹を破壊すると二度と蘇らない地域があるとしたら、それは、私たちの北杜市に他なりません。 新横浜から青い山々は見え、寒い日にも雪景色は似合いません。大自然が織りなす色彩なしに眺める小都会はただの眺めにすぎず、景観とも風景とも呼び難い味気ないものです。 中部横断道建設を「見据えた」まちづくりとは、何を見、聞き、感じてのことでしょうか。 あまりにも想像力を欠き過ぎてはいませんか。北杜市には、むしろ日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません。 以上。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市には、豊かな自然だけでなく、縄文時代の遺跡群を筆頭として魅力ある観光資源が溢れています。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本随一の山岳景観を新しく創造する気概を持って、北杜ならではのユニークな観光産業興しに取り組むなど、民間企業や起業家、一般市民によるパワーを醸成して戴きたいと願って止みません」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、「民間企業や一般市民との協働による観光振興の取組」に関する文章を追記します。</p>
105	<p>まず、「高速ありき」のまちづくりには賛成できません。 新ルートに関するアンケート調査を、平成23年と同様に北杜市全体の住民や別荘の人達に実行していただきたいです。 八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すこととなります。 我が家には、二人の子供がおりますが、「この先、八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり背負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」と申します。 高速道路計画に対して、中学生や高校生の子供達は冷静に判断し、失望したり、あきれています。また大人達の無責任さを嘆いています。 どうか全国の子供達の財産である自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい。 全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです。 私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います。「私達も自然の一部であること」を再認識した上で、みんなで「まちづくり」をしましょう。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。</p> <p>なお、頂いたご意見の中で、「八ヶ岳南麓への高速建設は、環境・景観・観光に多大なダメージを与えるだけでなく、北杜市の少子高齢化により、将来、子供達に多額の借金を残すこととなります」、「自然や環境や美しい景色を奪わないで下さい」、「私達人間が「壊さないように努力すること」が、最も大切な「まちづくり」だと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳南麓に高速道路ができたり、借金ばかり背負わされるならば、将来は北杜市に住まない。」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際、経済性にも配慮し、検討して参ります。</p> <p>「全国の八ヶ岳ファンが愛する雄大な自然や、景色、きれいな空気、暗い夜空に輝く星、そして静けさ。それらは町や都会では手に入らないのです」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に「澄んだ空気」という文言を追記します。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-72

No.	内容	対応案
106	<p>この件については、3~4年前からいろいろなところでいろいろな形で住民との意見交換会が開かれました。私もいくつかの説明会に出席し、内容と課題について承知したつもりです。 大半の意見は、この地域に高速道路は不要、せいぜい141号の改修で十分だと。 ところが、いつの間にかこうした意見は無視されたように高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました。 しかも、変わった経緯については残念ながらほとんど知らされていません。 今必要なことは、変わったのであればなぜそうなったか、今からでも住民説明会を開くなどして変わった理由を教えてください。 残念ですが当事者である北杜市の顔が見えません。 今からでも遅くないと思います。</p>	<p>頂いたご意見の主旨は『北杜市中部横断自動車道活用検討委員会』の所掌外のご意見です。 なお、頂いたご意見の中で、「国道141号の改修で十分」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15から「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「高速道路を活用するにはどうしたらよいかに変わってしまいました」に関しては、北杜市中部横断自動車道活用検討委員会は、中部横断自動車道の整備を見据え、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組等を住民自らが主体的かつ計画的に推進するためのまちづくり構想を検討するために設置されております。</p>
107	<p>要望書 花開所の郷南清里フラワーパーク企業組合(愛称 南八ヶ岳花の森公園 以下「花の森公園」という。)は、国道141号線沿線の北杜市高根町長沢地域において、長期にわたり花と緑のうおい、又、都市住民と地域住民のふれあい交流並びに、ゆとり地域の活性化を図るため、当地域に地域住民にて企業組合を結成し、事業を展開しております。 今般の中部横断自動車道の整備を見据えた中で、ルート帯にある花の森公園及び道の駅「南きよさと」を、サービスエリア等の一部として当施設を高度に利用することで、さらなる地域の活性化に繋げたいと考えております。 つきましては、以下の事項についてご高配を賜りたくお願い申し上げます。</p> <p>記 一、花の森公園及び道の駅「南きよさと」の施設を、サービスエリアと併用設置すること。 二、当施設直近の場所に、インターチェンジを設置すること。 平成二六年一月三十日 ***** 殿</p>	<p>頂いたご意見の中で、「中部横断自動車道の整備を見据えた中で、ルート帯にある花の森公園及び道の駅「南きよさと」を、サービスエリア等の一部として当施設を高度に利用することで、さらなる地域の活性化に繋げたいと考えております」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「花の森公園及び道の駅「南きよさと」の施設を、サービスエリアと併用設置すること」、「当施設直近の場所に、インターチェンジを設置すること」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>
108	<p>2014年1月31日 北杜市まちづくりビジョン パブリックコメント 公益財団法人キープ協会</p> <p>(1)環境 1)環境教育 1:人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進すること 2:豊かな自然=森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進。 3:貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進 4:自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする 2)環境保全 1:動物の移動経路を確保し、保全すること アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること 2:環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施 3:重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和 4:豊かな生物多様性の保全 5:希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立 6:里山・森環境を支える生物の保全 4)自然との共生社会の確立 1:持続可能な社会の確立 2:シカの適正な管理、森と人の暮らしを減らす要因の管理 3:サルに適正な管理</p>	<p>頂いたご意見の中で、「人と環境の共生社会を創るための環境教育を推進」、「豊かな自然=森・川・田んぼ・湧水等を用いた体験学習の推進」、「貴重な動物と人との共生から学ぶ教育の推進」、「自動車道に設置するサービスエリアを環境教育の場とする」、「動物の移動経路を確保し、保全すること」、「アニマルパスウェイの普及とモニタリングの実施をすること」、「環境を守るための基礎的で継続的な環境調査の実施」、「小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用」、「風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置)」、「太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置」、「企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造」、「豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立」、「多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。 また、「環境教育」については、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に、「また、貴重な動植物との共存への取組を通し、環境教育の広がりがなども期待されます。」という文章を追記します。 「重要で、生存に必要な自然環境の保護と調和」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。 「豊かな生物多様性の保全」、「希少野生生物の保存と共生の具体的施策の確立」、「里山・森環境を支える生物の保全」、「シカの適正な管理」、「サルの適正な管理」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料1 パブリックコメントで寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-73

No.	内容	対応案
(2) 景観・ランドスケープ 1) 豊かな環境を包括し、利用し、保護する総合的なランドスケープ案の確立 2) 優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全 3) 多種多様な生物が造り出す「生物景観」の創造と確立 4) 良好な生活環境への配慮 5) 牧場景観・高原景観の保全		「優れた山岳景観・農村景観と渓谷景観の保全」、「牧場景観・高原景観の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。 また、P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」を「優れた景観の保全」とし、解説文を「北杜24景に代表される優れた山岳景観、それらを背景とした農村景観や高原の眼下に広がる渓谷などの景観資源を守り、活用していくため、色彩の工夫、多種多様な景観になじむつくりにするなど、周辺の風景と調和したまちづくり・みちづくりの取組が必要と考えます。」に修正します。
(3) 暮らし 1) 再生可能・持続可能エネルギー社会の推進 1: 小水力発電エネルギーの普及と推進。山麓の水路の利用 2: 風力発電エネルギーの普及と推進(道路沿いにも設置) 3: 太陽光発電の家庭化の推進と道路沿いへの設置 2) 豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全 3) 地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展		「良好な生活環境への配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「豊かな水を守るための水源地と管理・保護と水源涵養林の保全」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。
(4) 地域活性化 1) 豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立 2) 案内標識の充実 3) 企業とNPO・行政との連携で新たな価値を顧客の創造 4) 高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進 地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など 地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ		「地産地消のネットワークの発展で豊かな食の発展」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。 また、上位関連施策等と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。
(5) 観光 1) 日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める 2) 首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(ハケ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める 3) 地域のエコツーリズムの発展 農体験、森体験、川体験、田んぼ体験、 4) 自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保 1: 自然(森・高原・渓谷・田んぼ・湧水)・文化(縄文・絵本・博物館) 2: おかぐらの実体験。地域活性化ともなる 5) 博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立 やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携 6) 山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化 おらんうーたんととの連携		「豊かな農産物による都会市民とのネットワークの確立」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。 「案内標識の充実」、「高速道路のサービスエリアへの地元参画の取組の推進」、「地元による地域コンシェルジュの配置、地元野菜の販売など」、「地域文化の展示・案内ビデオ、豊かな自然の展示と紹介ビデオ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。 「日本海から太平洋までの経路の視野で観光を進める」、「自然と文化と芸術・食・農を繋げた観光の創造とアクセスの確保」、「博物館・美術館・絵本美術館などを拠点とした観光の確立」、「やまねミュージアム、平山美術館など多数との連携」、「山麓に棲む多種多様な芸術家の観光化」、「おらんうーたんととの連携」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。
以上		「首都圏⇒富士山地域⇒北杜市(ハケ岳)⇒軽井沢⇒首都圏 のサークルの観光の視野で進める」、「農体験、森体験、川体験、田んぼ体験」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-74

No.	内容	対応案
1	<p>・東海・東南海地震が近いという今、中部横断道の開通はできるだけ早くし、工場の中陸部移転等を県、市の目玉とすれば、新しい工場も増え雇用促進にも繋がるだろう。災害の少ない北杜市を上記の面からアピールしたらどうだろう。</p> <p>・高速道路が新たに開通すると人の流れは大きく変わり観光資源の多い北杜市に多くの人が訪れるだろう。本格的なリゾート地を確立し本物(水、太陽、空気)の自然を提供したらいいだろう。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「中部横断道の開通はできるだけ早くし、向上の中陸部移転等を県、市の目玉とすれば、新しい工場も増え雇用促進にも繋がるだろう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路が新たに開通すると人の流れは大きく変わり観光資源の多い北杜市に多くの人が訪れるだろう。本格的なリゾート地を確立し本物(水、太陽、空気)の自然を提供したらいいだろう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
2	<p>道路は便利になったほうが良い。壊す自然を最小限にして。</p> <p>私たち、田舎暮らし人間にとっては、道路が良くなり出かけるに短時間で行けることは良いことです。</p> <p>災害時、高速道路が強く、各機関の応援部隊の到着が早くなる。山に囲まれた地域は県内から出れる道路は多くあったほうが良い。</p> <p>都会から来た人は自然が多くあったほうが良いと思うが、生まれてからここに住んでいる人のことも考えてほしい。</p> <p>自分さえ良ければの考え方は、田舎者をバカにしている。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「壊す自然を最小限にして」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「道路は便利になったほうが良い」、「道路が良くなり出かけるに短時間で行けること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「災害時、高速道路が強く、各機関の応援部隊の到着が早くなる。山に囲まれた地域は県内から出れる道路は多くあったほうが良い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然が多くあったほうが良い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
3	<p>道路網について 暫定2車線は当初から4車線で整備して欲しい。</p> <p>農業について 近く農業も六次産業まで持っていけないと衰退するので、活用できるように希望する。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「農業について 近く農業も六次産業まで持っていけないと衰退するので、活用できるように希望する」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>
4	<p>1 中部横断自動車道長坂JCTができることは、北杜市の発展には大きな夢が期待できるものと思います。長坂インターを核に各町への道路網の整備をもう一度見直し、できるだけカーブをぬき、大型自動車がゆっくりすり合いのできる車道の整備が必要と思われます。特に、国道20号線に接続する白州地区から長坂町への道路はカーブが多いので改善し、中部横断自動車道と国道20号線の連携を強化してもらいたい</p> <p>2 中部横断自動車道が開通すれば、通年大勢の観光客が見込まれます。一度来た人がまた来たいと印象づけるには、「もてなし」の接待が大切であります。只今、市内には道の駅や直売所がありますが、ほとんどの所で観光案内は、片手間であり、商品に専念しております。</p> <p>開通後は、沢山の来訪者が訪れることが予測されますので、道の駅等には、観光案内のできる専従の市嘱託の職員を配置し、親切丁寧な北杜市の観光等の案内ができる体制づくりが重要だと思っております</p> <p>3 中部横断自動車道の計画は2路線と聞いておりますが、将来に向かっては、4車線にできるよう用地だけは、最初から買収した方がよいと思います</p> <p>4 北杜市の定住人口を増やす対策として、空き家バンク制度の充実を強化し、都市住民の受け入れに重点を置き、人口の増加を図るものとする～地域の区長等の協力体制の組織づくりも大切だと思っております</p> <p>5 宿街道の石畳み・電柱の移設が埋設・宿街道の景観整備により、昔の歴史街道の面影を復元願いたい</p> <p>6 大小河川が荒れて山になっている。白州の河川は、大木が繁茂し、台風時の大雨は大変心配です。地域の奉仕活動にも呼びかけ、川をきれいになりたい</p>	<p>頂いたご意見の中で、「長坂インターを核に各町への道路網の整備をもう一度見直し、できるだけカーブをぬき、大型自動車がゆっくりすり合いのできる車道の整備が必要と思われる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「特に、国道20号線に接続する白州地区から長坂町への道路はカーブが多いので改善し、中部横断自動車道と国道20号線の連携を強化してもらいたい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「もてなし」の接待が大切」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に、『市民の『もてなし』の気持ちを背景に』という文言を追加します。</p> <p>「道の駅等には、観光案内のできる専従の市嘱託の職員を配置し、親切丁寧な北杜市の観光等の案内ができる体制づくりが重要だと思っております」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「空き家バンク制度の充実を強化」に関しては、上位関連施策と整合を図りながら(各種団体の取組とも調整を図りながら)進めて参ります。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-75

No.	内容	対応案
5	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然環境に配慮した工法 ・無秩序に森林が伐採され多くの別荘、新規永住者がいる。自動車道を造ってもなら影響はない。 <p>商工業の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北杜市が通過地点になることは避けたい。インターチェンジ設置、市民が知恵を絞る若者の定住化、物流の拠点づくり等。 <p>農業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米、野菜等の都市部への短時間での輸送が可能になる。 <p>観光振興</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの観光客の増加が見込まれる。ただし、今から地道なPR活動が必要。 <p>クリアしなければならない様々な問題があると思うが、中部横断自動車道は市民の長年の夢であり早期開通を切に願う。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「自然環境に配慮した工法」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「インターチェンジ設置」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「市民が知恵を絞る若者の定住化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「物流の拠点づくり等」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に、『物流の拠点づくり』という文言を追記します。</p> <p>「米、野菜等の都市部への短時間での輸送が可能になる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地道なPR活動が必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>
6	<p>御苦勞様です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然環境は環境、景観に良く、利便性のある道路にして下さい。 ○周辺に調和した構造にして下さい。 ○北関東方面に中部横断道で都内を通らないので良いと思う。 ○防災機能は高速道路のネットワークも役に立ち、災害時の移動ルート等に活用できるので良いと思います。 ○地場産業とタイアップしたらどうですか。 ○高速道の中に道の駅、SA、PA施設があると活性化になると思います。 ○山岳景観を見られるヶ所を造ってほしい ○ライブカメラを設置し、近くの観光地に誘導する事も良いと思います。 <p>※長年の希望ですので、早く事業を行って下さい。反対の方々は自分の事だけを行っている様です</p>	<p>頂いたご意見の中で、「自然環境は環境、景観に良く、利便性のある道路」、「周辺に調和した構造」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」、環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「防災機能は高速道路のネットワークも役に立ち、災害時の移動ルート等に活用できるので良い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地場産業とタイアップしたらどうですか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道の中に道の駅、SA、PA施設があると活性化になると思います」、「山岳景観を見られるヶ所を造ってほしい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19環境・景観「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「ライブカメラを設置し、近くの観光地に誘導する事も良いと思います」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-76

No.	内容	対応案
7	<p>中部横断自動車道は、各県の交流・連携を活発化及び地震等が発生した際に山梨県と長野県、更には北関東・東北地方を結ぶ救援路であり、必要不可欠の道路であり、一刻も早い全線開通を！</p> <p>○豊かな自然や美しい景観への配慮を！</p> <p>○高速道路の利便性と地域の活性化と物流の効率化等を！</p>	<p>「各県の交流・連携を活発化」、「地域の活性化と物流の効率化等」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地震等が発生した際に山梨県と長野県、更には北関東・東北地方を結ぶ救援路」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14から「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「豊かな自然や美しい景観への配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
8	<p>私たちは **沿いにある 小さな 集落です 人口は 約180名 内 65才以上の 老人が約 120名 又その半分は 75才以上の高齢者です 区民の人は 中部横断自動車道の話等は 関係ないようです 話題は サル シカ イノシシなどの 被害の話ばかりです</p> <p>しかしこの大地 北杜市は ハケ岳を含む まわりの 山山は非常にすばらしい地域です また大切な水 湧水などの 源です このような地域の 自然環境 景観など 大切にすばらしい観光地 また 農業の活性化につなげればと おもいます</p> <p>私たちの 時代に 横断道の開通は のぞめませんが 子供たち また 孫達が この中部横断自動車道が 大変役にたち 地域の活性になればと 思っております 以上</p>	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市は ハケ岳を含む まわりの 山山は非常にすばらしい地域です また大切な水 湧水などの 源です このような地域の 自然環境 景観など 大切にすばらしい観光地」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「すばらしい観光地」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「農業の活性化につなげれば」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>
9	<p>皆様の投書を読ませて頂きました。100パーセントの工事はありえないと思います。それぞれの分野で良い案を取り入れて、1日も早い工事を皆様が喜んでくれる中部横断道を完成して下さい。そうなれば新潟まで開通すれば流通、物流が澄やかに発展すれば、観光客も行き来が出来ると思います。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「新潟まで開通すれば流通、物流が澄やかに発展すれば」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光客も行き来が出来る」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p>
10	<p>多岐に亘る意見が集約されており、ビジョンに付け加えたい意見は特にございません。</p>	<p>まちづくりビジョンの策定の後、まちづくりビジョンを達成するための道路プラン策定に取り組んで参ります。</p>
11	<p>※武州・白州筋への道案内とか、国道20号線に繋がる直結道を検討してほしい。</p> <p>※中部横断道はハケ岳筋がメインで、甲州街道沿いはカヤの外になってしまう。宣伝も兼ねた看板の設置も必要かと思う。</p> <p>※太平洋・日本海にアクセスが便利になるので、地場産業の売り込みは勿論だが、逆に新鮮な海産物を地元住民に提供する場も設けてはどうか。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「武州・白州筋への道案内とか、国道20号線に繋がる直結道を検討してほしい」、「宣伝も兼ねた看板の設置も必要かと思う」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」、P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地場産業の売り込みは勿論だが、逆に新鮮な海産物を地元住民に提供する場も設けてはどうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『他地域の特産品の呼び込み』という文言を追記します。</p>
12	<p>特に意見等はありませんが、とにかく早期完成を望む声が多いです。よろしく。</p>	<p>まちづくりビジョンの策定の後、まちづくりビジョンを達成するための道路プラン策定に取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-77

No.	内容	対応案
13	<ul style="list-style-type: none"> 検討委員会の中で、この種の問題を末端の行政区(班)におろされても対応が困難です(私だけでしょか?) 地区の意見を真摯に伺うのであれば全戸へのアンケート(無記名)方式が望ましいと思う。(この意見も経費面で難しいとの声が聞かれそうです) 過日班の定時総会時に提示したが、既に地区説明で色んな意見が出つくされている。班長が耳にしている範囲でまとめて出してくれとの反応であった 国交省主導の出来レースで進んでいるように見えます。R141拡幅案、斐崎or須玉からのルート案など全く検討外のように見えますが、どんな検討がされてきたのか解りません。 このまま南ルート案で進むことを前提とするならばR141の道の駅(長沢)近辺にICを設置を望む声が大勢を占めると思われる。 	<p>頂いたご意見の中で、「地区の意見を真摯に伺うのであれば全戸へのアンケート(無記名)方式が望ましいと思う」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プランの策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p> <p>「R141の道の駅(長沢)近辺にICを設置を望む声が大勢を占めると思われる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②: 商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>
14	<p>1.説明会不足 イ: ** 地域の側を通る、又は一部にかかる案があるが、地元民に対する詳しい説明がされていない。(一回 ** で説明会があったが、他所からきた反対する人々の質問に終止し、何の説明もされていない地元住民は、「この会は一体何か」の感想のみ。反対も賛成も判断できなかった。 ロ: ** 地区の分断、及び景観が悪くなるルートには反対する。江草、増富、多麻に隣接する山の中を通すようなルートを提案する。 2.地元民だけへのていねいな説明会を早急に開いてもらいたい。第一に、聞きたい事にしっかり答え、理解させていただきたい。ルートとしてでている幅広なものでは不安になるだけであり、地区民の希望する案(ルート)の話も聞いてもらえていない。そしてこの会に ** 地区以外の方は絶対参加させない事を徹底させてもらいたい。(前回と同じでは聞く意味がない)</p>	<p>「** 地区の分断、及び景観が悪くなる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②: 優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p>
15	<p>1.中部横断自動車道を施設しないで、国道141号線を整備して使用する。 1.中部横断自動車道を建設するならば、***** 豊かな、ハヶ岳甲斐駒などの豊かな自然環境を充分配慮して欲しい。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「国道141号線を整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②: くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「***** 豊かな、ハヶ岳甲斐駒などの豊かな自然環境を充分配慮して欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針: 多様な自然・環境・景観ととも」に基づき、取り組んで参ります。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> 中央高速が開通した時、山梨への経済効果は大きいという予測があったが、何十年も経た今はどうか。観光にしても長野方面への通過的な存在になっているように感じます。 便利になりすぎて中部横断道の場合も中央高速と同じような状態になるように思われる。それを回避するための方策等も十分検討しておく必要を感じます。 道路を設けると人が多く来る、と安易に考えず、人が多く来ても必ずしも地域のためにはならないこともありえると思います。道路設置と今の生活が共存できる方策を考え、地域発展のための道路になるよう願います。 	<p>頂いたご意見の中で、「中部横断道の場合も中央高速と同じような状態になるように思われる。それを回避するための方策等も十分検討しておく必要を感じます。」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針: にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「道路設置と今の生活が共存できる方策を考え」に関しては、北杜市まちづくりビジョンは、既定計画である「北杜市まちづくり計画」を踏まえ、中部横断自動車道の整備を見据え、沿線地域の将来像を明らかにし、北杜市の恵まれた地域特性を踏まえながら、地域の活性化に結びつける取組や方策等を、地域住民自らが主体的かつ計画的に推進するための指針となるものです。</p>
17	<ul style="list-style-type: none"> 環境、景観等に配慮しながら利便性の有る道路造り SAを景観の良い所に 高速道路が開通すると相互の物流が良くなる 高速が開通すると新潟、群馬方面のアクセスが良くなり時間短縮にもなる 開通すると北杜市にも観光客が多くなるのでは 	<p>頂いたご意見の中で、「環境、景観等に配慮しながら利便性の有る道路造り」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①: 豊かな自然環境との調和」、P13環境・景観「視点②: 優れた山岳景観と農村景観の保全」、P15くらし「視点②: くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「SAを景観の良い所に」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19環境・景観「視点②: 豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路が開通すると相互の物流が良くなる」、「高速が開通すると新潟、群馬方面のアクセスが良くなり時間短縮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針: 魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「開通すると北杜市にも観光客が多くなるのでは」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針: にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-78

No.	内容	対応案
18	<ul style="list-style-type: none"> 北杜市の景観を目的に案内を設置 公共の温泉施設の利用してもらった観光コースの提案 SA、PAがあると農産物の販売等につながるのでは 自然を大事にしての取組み 地域の活性化を考えるならアクセスを留意して欲しい 	<p>頂いたご意見の中で、「北杜市の景観を目的に案内を設置」、「公共の温泉施設の利用してもらった観光コースの提案」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「SA、PAがあると農産物の販売等につながるのでは」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然を大事にしての取組み」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域活性化を考えるならアクセスを留意して欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に基づき、取り組んで参ります。</p>
19	<p>1. 高速道路のネットワーク化は非常時の対応として重要である。 例(1)大震災が想定される中で、特に山梨県は周囲が山岳に囲まれている事を念頭におく必要がある。 (2)中央道笹子トンネル事故が良い例である。有事の際に縦横に整備した高速道路網が必要不可欠である。</p> <p>2. 産業、観光面からも整備メリットはある。 八ヶ岳、富士山どちらも素晴らしい景観を売りに出せると思う。</p> <p>3. 自動車の排気ガス規制も、世界レベルから見てもトップ的存在である。 余り排気ガスにこだわる考えは・・・どうか</p>	<p>頂いたご意見の中で、「大震災が想定される中で、特に山梨県は周囲が山岳に囲まれている事を念頭におく必要」、「有事の際に縦横に整備した高速道路網が必要不可欠」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「八ヶ岳、富士山どちらも素晴らしい景観を売りに出せると思う」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19環境・景観「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「排気ガスにこだわる考え」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
20	<p>中部横断自動車道は長年の懸案であり、中々実現しない状況ははがゆい思いがある。色々難題があると思いますが、早期開通を望みます。</p>	<p>まちづくりビジョンの策定の後、まちづくりビジョンを達成するための道路プラン策定に取り組んで参ります。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> サービスエリア内に地区の農産物を販売出来る場所を設けて欲しい クリスタルラインとのアクセスを考えて欲しい ***川を渡ってから*****区までの道路整備を考慮して欲しい 料金所、除雪作業等に地元の職員を雇用して欲しい 	<p>頂いたご意見の中で、「サービスエリア内に地区の農産物を販売出来る場所を設けて欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「クリスタルラインとのアクセスを考えて欲しい」、「***川を渡ってから*****区までの道路整備を考慮して欲しい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-79

No.	内容	対応案
22	<ul style="list-style-type: none"> ICを清里周辺に誘致して、地元の活性化を図る。 ハケ岳周辺の動植物を保全し、環境や景観を損なわない道路整備を目指して 地元特産の農産物の販売する場所を 北杜市の魅力や歴史などの発信 	<p>頂いたご意見の中で、「ICを清里周辺に誘致」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「ハケ岳周辺の動植物を保全し、環境や景観を損なわない道路整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地元特産の農産物の販売する場所」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の魅力や歴史などの発信」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>
23	<p>ビジョンのような「補らぬ狸の皮算用」をすることもよいが、当初計画が* * 地区の新住民によって変更を余儀されたことが問題です。 * * 地区には新住民が少ないので、反対する者は少ないだろうという理由で専ら* * 地区が候補であると地域住民は思っています。 長坂ICの次が清里ICのようですが、これでは清里には降りる車はあっても他は中央自動車道の現在のICで充分です。 当地区の住民は、家の近くを通るのではないかと思っている者もいるので、地図上の理解不十分のコースよりも、先ず、具体的なコースを決定することが肝要です。何れにせよ、ただ素通りするだけなので、* * を通るにしても生活圏を離れたコースにしていただきたい。それまでは何を言っても「補らぬ狸の皮算用」です。 限界集落が活性化されるとは思えません。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「何れにせよ、ただ素通りするだけ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「生活圏を離れたコース」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
24	<p>災害時等を考えると道路の整備は必要ですが、その為に居住環境の悪化が有ってはいけなと思う。 特に騒音、排ガス、光害、景観への配慮は十分に尽くされるべき問題だと考えます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「災害時等を考えると道路の整備は必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「居住環境の悪化が有ってはいけない」、「騒音、排ガス、光害、景観への配慮は十分に尽くされるべき問題」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>
25	<ul style="list-style-type: none"> 大型台風が接近した時には山梨県は高速道路が通行止めとなり、陸の孤島化することで東京方面には通行することが困難なため、この道路が開通することによっていち早く避難等のための迂回が出来き安心して暮らせる。 北杜市には、泉質の優れた温泉施設が数多くあるので、近県へのアピールをして利用客の増加を図ることが必要である。 清里IC出口に大規模な農産物直売所を建設し、北杜市内で採れた農産物を大々的に販売を行い活性化を図ることが必要である。 佐久から北杜市に入ると日本百名山のうち富士山をはじめ南アルプス、ハケ岳、奥秩父と日本有数の山々が一望できる景観の素晴らしい市あることをもっと大々的にアピールすることが必要である。 	<p>頂いたご意見の中で、「陸の孤島化」、「避難等のための迂回が出来き安心して暮らせる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「泉質の優れた温泉施設が数多くあるので、近県へのアピールをして利用客の増加を図ることが必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「清里IC出口に大規模な農産物直売所を建設し、北杜市内で採れた農産物を大々的に販売を行い活性化を図ることが必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日本有数の山々が一望できる景観の素晴らしい市」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-80

No.	内容	対応案
26	<p>農業も観光も工業も高速道が出たからと言ってそんなにあまい事はない。**** 通りを見なさい。原因は衰退と地価下落 借金。そもその原因は*** をまきこんで作ったインターにあることを考えるべきだ。別荘といなか観光をめざすなら高速道はない方がよい。売りは山といなかと水としずかさ。** の原宿化も考えて見たらさしあたりつなげなければ高速道の価値がないはわかるが反対の多い所をむりやり通さなくても 別荘地静かさを売るハヶ岳南部はまずやはり141号二階だてで平行がいいだろう。高速インターは地域を変えますぞ！！</p> <p>それでだいたい何かも左前になる賛成者はそれぞれつながりがあるので賛成しざるをえない。</p> <p>当方地区長は賛成反対あるなかその割合を見ている。よってどちらでもない。まさかこれを推進のテコにする目的か</p> <p>対案として住民と道路事業者等で話し合いで参加型(どこかにあった)で作った方がよい</p> <p>高速道作るな！！でなくて作るにはどうしたらの方法が良い</p> <p>どっちみち借金は賛成反対者も税金で払うことになる</p> <p>いっそのこと国債は日銀に全部買わせたら 市中では消化できない</p> <p>徳そく令を出せば、日本はIMFのごやっかいになる。文字通り日本沈没だ。</p> <p>圏央道ができ2東名ができ、北関東の人々が都心を通ることなくなったが、圏央道から大月富士五湖御殿場・東名のルートもある。効果は大きい。</p> <p>地図上では長野日田から茅野中央道が近い。</p> <p>北杜市は交通の要であるのもしか</p>	<p>頂いたご意見の中で、「売りは山といなかと水としずかさ」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「141号二階だてで平行がいいだろう」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「住民と道路事業者等で話し合いで参加型(どこかにあった)で作った方がよい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プランの策定においても、引き続き地域の皆様のご意見を伺いながら検討して参ります。</p>
27	<p>自然環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境・景観にやさしく利便性の道路を目指してほしい。 ・豊富な緑をなくすことのないように、配慮してほしい。 <p>景観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・眺望が最低確保できるような構造が良い <p>生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟からも、又静岡方面から流通しやすいので良いと思う ・北関東方面にも、中部横断道で行けるので良い <p>地域の防災機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(サービスエリアは)非常時には避難場所として使用できるとともに、災害救助用のヘリポートを併設する <p>医療体制</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速を使って、救急・災害への対策がとれるようになると思う。 	<p>頂いたご意見の中で、「環境・景観にやさしく利便性の道路」、「豊富な緑をなくすことのないように、配慮」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「眺望が最低確保できるような構造」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「新潟からも、又静岡方面から流通しやすいので良い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北関東方面にも、中部横断道で行けるので良い」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「(サービスエリアは)非常時には避難場所として使用できるとともに、災害救助用のヘリポートを併設する」、「高速を使って、救急・災害への対策がとれるようになる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>
28	<p>高速道路の新設に伴うメリット、デメリットは、決定ルートにより直接的に影響を受ける沿線地区、各個々人の生活事情により千差万別であり、北杜市のビジョンづくりの基本的なスタンスはデメリット、特に悪影響を蒙る当該者への充分なる配慮にそったものでなければ、と考えます。もう利便性、経済的効果のみを謳う時代ではありません。</p> <p>*** 地区では計画ルートに該当する方がお二人いらっしゃいます。生活に直結する問題であり、ご本人の苦悩を語っていただきましたので添付します。よろしくご配慮の程をお願いいたします。(以下、区長ではない該当者からのコメント)</p> <p>北杜市まちづくりビジョン(素案)に対する意見</p> <p>*** に新規就農した専業農家です。栽培作物の適地であると同時に景観と水の良さが魅力で都会から移り住みました。現在発表されている1km幅の道路予定地内に住居及び農場があります。</p> <p>就農時に当該道路計画がわかっていたら当地への移住はあり得なかったことを考えると悔やまれてなりません。</p> <p>道路計画が中止にならないならば、早期の道路建設ルートの確定を求めたいと思います。万が一移転することになった場合は、農業の場合は住まいだけでなく、新たな農地の検討、土壌改良(土は持っていけないので)、設備準備等に最低でも5年は要するからです。</p> <p>北杜市にとって高速道が縦断するデメリットをよく考えてほしいです。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「栽培作物の適地であると同時に景観と水の良さが魅力」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「農業の場合は住まいだけでなく、新たな農地の検討、土壌改良(土は持ってはいけないので)、設備準備等に最低でも5年は要する」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-81

No.	内容	対応案
29	<p>別添「意見の例」と重複するが、中部横断自動車道の全線開通により往来が容易になり、行動範囲、活動範囲が広がり、観光面をはじめ流通の面からも農業・商工業の発展、そして地域の活性化にも期待出来ると思われる。</p> <p>自然環境の保護も確かに大切だが、それ以上に自分たちの生活面での必要性、利便性も考えるべきである。</p> <p>また、高速道路のネットワーク化により非常時・災害発生時などはメインルートとなり、救急医療活動、災害救助・支援等にも活用されるであろう。人にも環境にもやさしい、利便性の高い高速道路を目指していただきたい。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「往来が容易になり、行動範囲、活動範囲が広がり」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光面をはじめ流通の面からも農業・商工業の発展、そして地域の活性化にも期待出来る」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」、P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「非常時・災害発生時などはメインルートとなり、救急医療活動、災害救助・支援等にも活用される」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「人にも環境にもやさしい、利便性の高い高速道路」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
30	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路が通る事は良いと思うが、観光で来た方達がゴミを捨てていくのではないだろうか? ・道の駅とかサントリーなど北杜市内のマップを作成したらどうか? ・高速が出来る事で建物を作る事は反対。今ある自然を大切にしておく事が大事。 ・素通りしていくのではないかと(多数意見) 	<p>頂いたご意見の中で、「観光で来た方達がゴミを捨てていくのではないだろうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「道の駅とかサントリーなど北杜市内のマップを作成したらどうか」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速が出来る事で建物を作る事は反対。今ある自然を大切にしておく事が大事」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「素通りしていくのではないかと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
31	<p>中部横断自動車道(長坂～八千穂)間の早期実現は北杜市はもとより、山梨県にとっても重要だと思われまます。</p> <p>山梨県は東京都に隣接他の県から見ると山岳をひかえている関係でおかれている部分かなりある事を感じます。</p> <p>高速道の接地により、より一憩の文化の発展を切に願う者です。自然を最大限残しながら人の交流をさらに深め、北杜市全体の地域性を生かした歴史文化、自然、景観の良さをさらに推し進めていただきたいものです。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「より一憩の文化の発展を切に願う」、「北杜市全体の地域性を生かした歴史文化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に、『文化・芸術』に関する文章を追記します。</p> <p>「自然を最大限残しながら人の交流をさらに深め」、「自然、景観の良さをさらに推し進めていただきたい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p>
32	<ul style="list-style-type: none"> ①白州方面には、中部横断道に入るアクセス道路が無い。アクセス道路を考えること。 ②中部横断道路は、大規模災害が発生した時、中央道が交通不能の場合には、補給道路として最重要道路となることと思います。 	<p>頂いたご意見の中で、「アクセス道路を考えること」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「大規模災害が発生した時、中央道が交通不能の場合には、補給道路として最重要道路となる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-82

No.	内容	対応案
33	区の人と自動車道について話したことがないので個人の意見しか書けませんが、道路や建物はできるだけ作らめに越したことはないと思います。どうしても作らねばならないならば、建設計画の任に当たる人は、百年の計を踏まえて、命を懸けるぐらいの気持ちで決断してほしい。たとえば、いつかの感情や思いこみで反対されたりした場合穏便におさめる為に目的の地までの計画を10km違まわりさせたとします。そうするとその道路があるかぎり通過する車は10km分余計にエネルギーを無駄遣いしなければなりません。それは個人の問題だけでなく今の化石燃料を使うかぎり、地球の損失になると思います。その他諸々の要素があると思いますが、どうか木に竹を接いだような物は作らないで下さい。	頂いたご意見の中で、「化石燃料を使うかぎり、地球の損失になる」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。 「木に竹を接いだような物は作らないで」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和」に基づき、取り組んで参ります。
34	中部横断自動車道が整備されると人と自動車の往来は飛躍的に高まる。このことによって、本市の経済も向上していく。活力のある本市として発展していくためには、高速道路の整備は不可欠である。わが国的高速道路は全国ネットワークで結んでいるので、中部横断自動車道の早期整備が望まれる。佐久市から山梨県側に向けて工事が進められているだけに、山梨県側からの遅くれは整合性に欠ける。	頂いたご意見の中で、「人と自動車の往来は飛躍的に高まる」、「本市の経済も向上」、「活力のある本市として発展」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。
35	1. 山梨県北部地域が発展していくためには、中部横断自動車道は必要な道路である。早期の建設を望みます。 2. 中部横断自動車道建設に当っては、 1) 接続する県道・市道等を渋滞緩和や利便性向上の観点から、横断道建設と並行して整備してもらいたい。 2) 横断自動車道により、地域活動や日常生活が分断されないような建設と整備をしてもらいたい。 3) 景観や生活環境が損なわれないように進めてもらいたい。 4) 四車線建設を検討してもらいたい。	頂いたご意見の中で、「接続する県道・市道等を渋滞緩和や利便性向上の観点から、横断道建設と並行して整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。 「地域活動や日常生活が分断されないような建設と整備」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。 「景観や生活環境が損なわれないように」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」、環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。
36	****地域と****地域の間には山林原野が多いためか、近年は鳥獣害の被害が激増しております。特に山林を北側に控える****、****地区では鹿による被害が急増しており夜ともなれば数頭の集団が集落の中まで出没し農作物を食い荒らし生産者を悩ませています。そんな折中部横断自動車道の話が持ち上がったのですが、当道路が完成すればハケ岳方面から南下する鹿の遮断柵となり、被害が減るのではないかと、淡い期待をいただいています。	頂いたご意見の中で、「山林原野が多いためか、近年は鳥獣害の被害が激増」、「ハケ岳方面から南下する鹿の遮断柵となり、被害が減るのではないかと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点④:貴重な動植物との共存」に基づき、取り組んで参ります。
37	北杜市内への観光客分散型誘致 市内の自動車道IC(須玉、長坂、小淵)の出入口付近のコンビニ駐車場内一部を借用し(6箇所程度)旧町村へのルートと付近の商工業地及び観光スポットなどの案内板を設置することにより観光客を誘導する。	頂いたご意見の中で、「市内の自動車道IC(須玉、長坂、小淵)の出入口付近のコンビニ駐車場内一部を借用し(6箇所程度)旧町村へのルートと付近の商工業地及び観光スポットなどの案内板を設置することにより観光客を誘導」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-83

No.	内容	対応案
38	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車道としての必要性は他地区でも多数。 ・個人的私案 ①野辺山から須玉方面に通過するコースが理想(反対が少ないのでは)(利害なしで考えてあたりまえ) ②野辺山から長坂のコースなら地域の特性・利便性・観光などさまざまな役割を考えると維持・管理の問題はあるがジャンクションが自由に入出りのできる自動車道がよい ※ 名称は長坂の坂と野辺山の野辺で坂野辺自動車道とする ※ ジャンクションは話し合いで2~3ヶ所がよい ※ 途中で日本一のサービスエリアが可能である ※ 四方に国立公園・国定公園があり、日本の名高い山々が見渡せるエリアはどこにもない。まさに日本一のエリア道路としての客にPRする最大のポイントだと思う。 ※ 地域密着型にしないと道路が通っているだけになってしまい期待したよりも通行料は少ないのではと考えています。並の自動車道ではただあるだけ。 	<p>頂いたご意見の中で、「地域の特性・利便性・観光などさまざまな役割を考えると維持・管理の問題はあるがジャンクションが自由に入出りのできる自動車道がよい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「名称は長坂の坂と野辺山の野辺で坂野辺自動車道とする」、「ジャンクションは話し合いで2~3ヶ所がよい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「途中で日本一のサービスエリアが可能」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「四方に国立公園・国定公園があり、日本の名高い山々が見渡せるエリアはどこにもない。まさに日本一のエリア道路としての客にPRする最大のポイント」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」、観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域密着型にしないと道路が通っているだけになってしまい期待したよりも通行料は少ないのでは」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p>
39	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の迂回路等として重要だと思う ・佐久、軽井沢、草津等も含めた広域な観光ネットワーク化による観光開発も視野に入れ検討できそうである ・高速道路といっしょに、太陽光発電、風力発電等自然エネルギー開発も含め複合的に開発できないか ・自然界を走る人工物もデザインによっては美しいと思う。デザイナー等の意見や設計も取り入れるべき ・S・Aを道の駅以上に地元の情報発信、販売、雇用等に活用するよと思う 	<p>頂いたご意見の中で、「災害時の迂回路等として重要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①:安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「広域な観光ネットワーク化による観光開発も視野に入れ検討」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「太陽光発電、風力発電等自然エネルギー開発も含め複合的に開発」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然界を走る人工物もデザインによっては美しいと思う。デザイナー等の意見や設計も取り入れるべき」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点②:優れた山岳景観と農村景観の保全」に基づき、取り組んで参るとともに、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「S・Aを道の駅以上に地元の情報発信、販売、雇用等に活用」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」、P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-84

No.	内容	対応案
40	<p>観光面から捉えると今まで少なかった静岡、新潟からの来客に何を提供できるか検討する必要がある。ここでしか味わえない景観、文化は何なのか。</p> <p>北杜市は農業の裾野も広く多彩であり、農作物のブランド化が重要となる。地元のもの途切れなく提供できるかが問題。 * * 町は中部横断自動車道と離れているので、一般道に案内表示を効率よく配置し集客を図るのも必要だ。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「観光面から捉えると今まで少なかった静岡、新潟からの来客に何を提供できるか検討する」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針」にぎざい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「農作物のブランド化」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①」: 六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地元のもの途切れなく提供」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「視点①」: 安全・安心の確保に向けて」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「一般道に案内表示を効率よく配置し集客を図るのも必要」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点③」: 周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p>
41	<p>自然環境について 高速道路の建設においては沿線地域の自然を現状に近い状態で、道路の建設をしてほしい 沿線に当たる住民の、日照、景観、騒音、光害、排ガス、臭害等を第1に配慮して建設をお願いしたい。(地域にマッチした素晴らしい道路であってほしい)</p> <p>景観について 道路自体の景観又道路を利用した者から見た景観に寄っての視点が必要だと思う。 沿線住民としては、掘割式又はトンネル式に寄る道路建設を、多くの者が望んでいます。 道路を利用した者から見た景観については、見晴らしの良い場所にサービスエリアを建設してほしい。また高速道路をトンネルにし、その地上部に太陽光パネルを建設して災害時の電力にも備える</p> <p>生活環境について 道路建設により地域が分断されることのないことや、道路建設においては、既存の道路や水路の保存を最大限に配慮してほしい。 又建設期間中、沿線地域の交通安全や事故防止に最大限の配慮をしてほしい。</p> <p>公共交通や道路網について 一般道より高速道路に進入しやすい、スマートITを数力所建設してほしい、道路建設と併行して側道も整備してほしい、又一般道の改良を進め、工場誘致などを行って商工業の発展も図ってほしい。</p> <p>地域の防災機能 高速道路を防災時に効率的に使用するため、一般道との交差点に非常時の出入り口の建設をしたらと思う</p> <p>農業振興について 観光客の増加を見越し、観光農園や農家民宿などの滞在型観光やスマート、サービスITに農産物直売店を建設し地域の特産品の販売等により、地域振興を図り、又地域特産品(ブランド品)の開発を進め農業の振興を図る。</p> <p>観光について 道路完成後の観光客増に備え、観光資源の開発や定期的なイベントの開催、又観光地の指定や観光ルートの提案又開発を推進する。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「沿線地域の自然を現状に近い状態で、道路の建設」、「地域にマッチした素晴らしい道路」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針」: 多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「日照、景観、騒音、光害、排ガス、臭害等を第1に配慮」、「地域が分断されることのないこと」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P13環境・景観「視点③」: 良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「道路自体の景観又道路を利用した者から見た景観に寄っての視点が必要」、「見晴らしの良い場所にサービスエリアを建設」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②」: 豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「掘割式又はトンネル式に寄る道路建設」、「高速道路をトンネルにし、その地上部に太陽光パネルを建設して災害時の電力にも備える」、「建設期間中、沿線地域の交通安全や事故防止に最大限の配慮」、「スマートITを数力所建設」、「防災時に効率的に使用するため、一般道との交差点に非常時の出入り口の建設」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「既存の道路や水路の保存を最大限に配慮」、「側道も整備」、「一般道の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②」: くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「工場誘致などを行って商工業の発展」、「観光資源の開発や定期的なイベントの開催、又観光地の指定や観光ルートの提案又開発を推進」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針」: 魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光農園や農家民宿などの滞在型観光」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P18観光「基本方針」: ぎざい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「スマート、サービスITに農産物直売店を建設し地域の特産品の販売等により、地域振興を図り」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P17地域活性化「視点②」: 商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域特産品(ブランド品)の開発を進め農業の振興を図る」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「視点①」: 六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

参考資料2 行政区長から寄せられた意見一覧

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

自022-85

No.	内容	対応案
42	<p>環境に配慮した道路であって、水・動植物の保全も課題の一つである、などということは、北杜市に住む者・観光に訪れる方々の、誰もが考えていることであり、今からの道路や開発は、そのことを無視しては絶対にできないということは、当然のことである。また、そのように計画、整備されていくと思っております。高架橋のような高い道路はできるだけさけて、平坦な道路であるべきである。</p> <p>環境は観光の原点であるが、人と人の接点が重要であり、地域住民が、楽しく安心して生活のできる場所であれば観光地とは言えない。その点で道路の果たす役割は重要であり、便利で利用しやすい道路は誰もがのぞむところである。</p> <p>一般道への接点はできるだけ単純にして、141号へつなげてほしいものです。昭和40・50年代に野菜の大型トラックが、カーブから谷底へ転落した処を年に数回見たことを思い出します。良い道路があれば、流通がよくなることは、当然のことである。</p> <p>141号の改良ということも理解はできるが、あくまでも改良の方法によると思います。土地買収もかなりたいへんであろう。現状の141号の衰退された状況はいろいろな要素が重なっているであろうし、復活の機会になってくれることを期待しています。</p> <p>最高の景観地点にSA・PAを計画してほしいです。</p> <p>国の経済状況や人口減少を懸念しての反対もあるが、それは市だけで出来ることではないし、国会で議論してもらいたい。</p> <p>何ごとも反対意見のほうが大きく、正論のように聞こえる節はあるが、決してそのようなことはなく、医療や防災面からも、また、清里発展のためにも、早期実現を望んでおります。頑張ってください。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「環境に配慮した道路であって、水・動植物の保全も課題」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P12環境・景観「基本方針:多様な自然・環境・景観とともに」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高架橋のような高い道路はできるだけさけて、平坦な道路であるべき」、「一般道への接点はできるだけ単純にして、141号へつなげてほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「地域住民が、楽しく安心して生活のできる場所であれば観光地とは言えない」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に「安全性向上」という文言を追加します。</p> <p>「昭和40・50年代に野菜の大型トラックが、カーブから谷底へ転落した処を年に数回見たことを思い出します」、「141号の改良」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「良い道路があれば、流通がよくなる」、「清里発展のため」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「最高の景観地点にSA・PAを計画してほしい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「医療や防災面」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p>
43	<p>交通</p> <ul style="list-style-type: none"> ・** ** ** **の交差点は、** 方面から* * IC(中央道)に行く車で土日は渋滞しているので、* * 地内にスマートICを設置して渋滞を解消してほしい。 ・長坂ICから須玉ICの間の事故等の代替道路として、県道須玉～八ヶ岳公園線があるが、一部改良工事も進められているが、カーブが多く見通しも悪いので早急に全線の改良工事を進めてほしい。(別図参照) ・早期着工を進めてほしい。 <p>地域内の交通渋滞緩和と交通事故防止に向けて努力してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長野県(南牧村、川上村、小海町など)この地域の人たちにとっては、ほんとうに必要としていること北杜市の人たちも知ってほしい <p>中央高速道路の代替道路として必要 山梨県内の利用以前に国全体での必要度を検討すると、その重要度は震災等の想定から十分理解がでる。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「* * 地内にスマートICを設置して渋滞を解消してほしい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「県道須玉～八ヶ岳公園線があるが、一部改良工事も進められているが、カーブが多く見通しも悪いので早急に全線の改良工事を進めてほしい」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「地域内の交通渋滞緩和と交通事故防止に向けて努力してほしい」、「震災等の想定」に関しては、まちづくりビジョン(素案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適なくらしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-86

参考資料 第4回活用検討委員会において把握した団体意見

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	団体名	内容	対応案
1	キープ協会	<p>こんにちは、キープ協会の*と申します。今日はよろしくお願ひします。キープ協会は清里で60年以上、活動してきました。今日はこの会議にあたって、キープとしてのご意見を述べさせていただきます。</p> <p>まず、キープ協会としては高速道路を作る、あるいは反対ということに対しては中立の立場であります。そのようなことをまず踏まえて、この高速道路を通じた地域活性化を考えるにあたって、まず大事な視点としては、持続可能な社会というのをいかに作っていくかということが大きな視点だと思っています。具体的には経済的にどうするか、文化的な視点、それから環境、くらしと、この辺のものを本当にバランスを持ちながら共生社会を作っていくことだと思います。ただ、共生ということも非常に曖昧といえれば曖昧ですので、その辺、順に環境、それからランドスケープ、くらしなどについて、キープとしてどういふふうに考えているかお話をしたいと思います。</p> <p>まず、環境についてなんですけれども、環境については環境教育というものが非常に重要だと思っています。* * * * *さんを先頭にして、この市は環境を看板にしています。すると環境、あるいは環境保全で重要なことは社会化というキーワードです。つまり誰でもがどこでも、つまり市民の皆さんが、小さな子供からシニアの方まで環境について考えることができる。活動することができる。そのような環境教育が重要だと思っています。また市内どこでもできるということが重要だと思っています。そういう点で環境教育の推進ということを今後の大きな柱として、市として重要だと思っています。</p> <p>次に環境保全ですが、保全をするにはまず調べないといけない。反対にも、賛成にも、うちの環境がどのような状況であるか知らないと守れないからです。ですから、調査というのが非常に重要、基盤だと考えています。ですから、植物から始まって動物、全ての調査をきちんと行う。環境ということを標榜するんだったら、それがまず重要だと思っています。</p> <p>次に、僕はいろんな県の委員もしていますけれども、非常に貴重な動物。例えば天然記念物、レッドデータリスト、つまりもう減ってしまうような動物。それをまず守ることが当然大事だと思っています。一方でメダカが、山梨県は実は十数年前、日本で最初に絶滅宣言を出した県でもあります。その後、一生懸命回復されてきた人たちがいますが、メダカといったら普通どこにでもありました。言いたいことは、どこにでもある自然。そういうような普通の自然をも同時に大事にすることが、今言われている里山を守ろうという。ですから、非常に貴重な動物と一般的な自然の生き物はその環境を支えているメジャーですから、その双方を守っていくということが大事だと思っています。</p> <p>次に保全をするには、共生するには具体的な手段が必要ですよ。守ろうと言っても、具体的なことがないという意味がない。ですから、例えばヤマネを守るためのヤマネブリッジ、アニマルパスウェイ。道路をもし作るならば、そのような具体的な保全策を講じないといけません。もう一方で言えば、その北杜市の太陽光発電所を作る際も調査をさせていただきましたが、レッドデータリストのカヤネズミという小さな哺乳類がいました。守ろうということで、そのカヤネズミのトンネルをもつて無事成功しました。やっている高速道路のり面も、ひよつとしたら移動経路として使っている可能性があるというところもありませんし、もし作るような場合、そのサービスエリアを地域コンシェルジュのような形にして行うということも1つの可能性だと思っています。ですから、そのような具体的な保全策も研究があってそこに至りますから、そういう点でも調査、研究は大事だと思っています。</p> <p>次に危機をするのが鹿の問題です。この40年以上、清里の森を見てきていますが、鹿が急増。昨日も若林の信号のところ鹿が出てきましたが、これの適正な管理が必要だと思っています。</p> <p>次に景観、ランドスケープのところにいきたいと思っています。うちの市は本当にすばらしい景観が、山岳あるいは渓谷、農村、それから牧場、高原景観。牧場景観というのも非常に重要だと思っています。特にいろんな生き物がそこにいるだけの環境。昨日、小淵沢駅前でアオゲラというキツツキが鳴いていました。その声がすばらしい声です。チョウが飛んでいます。黄色いチョウ、黒いチョウ、オレンジ色のチョウ、そういうような生き物をそこにすまわすことで生き物が形作る景観。そういうのも1つ、今後考える上では重要じゃなからうかと思っています。</p> <p>大きな3番目、くらしですが、うちの市がやっている再生可能なエネルギー。これをどしどし発展させていくことが大事だと思っています。地産地消のエネルギーをみずから作っていく、そういう点が非常に重要だと思っています。</p> <p>次に地域活性化ですけれども、高速道路で環境保全、環境教育をやっているのが北海道にもあります。サービスエリアで、その町で子供たちが巣箱を置いて、そこで環境教育を実施しているということもありませんし、もし作るような場合、そのサービスエリアを地域コンシェルジュのような形にして行うということも1つの可能性だと思っています。</p> <p>次に観光の方面ですけれども、うちの市だけで考えると非常に人々の流れがあんまりよくないと思っています。東京、富士山、うち、それから軽井沢、東京にまた戻っていただく。そのような非常に県内のルートとか、あるいはより広範囲な太平洋、日本海。いろんな地域を結びながら観光というものをより考えていく。そのような日本の視点でも見ていくということが大事だと思っています。</p> <p>次に、非常に北杜市は博物館、美術館、絵本美術館、多様なものがありますので、その辺も観光の目玉としてもご提案していくということも大事だと思っています。と同時に非常に芸術家の皆さんが沢山住まわれていますので、その方たちも本当に連携をしながらいければいいと思っています。</p> <p>そういう自然との共生、人との共生、共生という言葉は非常に簡単ですけれども、地道な話し合い、地道な本当に合意というものをこれから一個一個作っていくながら、もし高速道路を作るとすれば非常に活用に、一杯多様なことをしながら建設する場合はそうすればいいとも思っています。</p> <p>以上です。</p> <p>ちなみに、すみません、昨日なんですけど、僕はNPOを作っております。北杜市の自然と道路のことを考えています。これが昨日ほやほやで作った北杜市の道路と森との環境です。40年前、清里に来たときは非常に道路なんか少なかったです。ところが今や北杜市、このような道路ができています。森を貫く道路、沢山あります。ですから、本当に道路と我々のくらし、それから多くの動物との共生をどうするかというのが非常に重要な問題だと思っています。以上です。</p>	<p>対応案</p> <p>頂いたご意見の中で、「高速道路を通じた地域活性化を考えるにあたって、まず大事な視点としては、持続可能な社会というのをいかに作っていくかということが大きな視点」に関しては、まちづくりビジョン(案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指し」に、「…将来に繋がる持続可能な地域振興を図っていくべき…」を追加します。</p> <p>「環境教育というのが非常に重要」、「環境保全で重要なことは社会化というキーワード」、「環境保全ですが、保全をするにはまず調べないといけない」、「調査というのが非常に重要」、「保全をするには、共生するには具体的な手段が必要」、「例えばヤマネを守るためのヤマネブリッジ、アニマルパスウェイ。道路をもし作るならば、そのような具体的な保全策を講じないといけません」、「レッドデータリストのカヤネズミという小さな哺乳類がいます。守ろうということで、そのカヤネズミのトンネルをもつて無事成功しました」、「のり面の保全、活用がレッドデータリストの動物を保護することにも繋がっている可能性がある」、「うちの市がやっている再生可能なエネルギー。これをどしどし発展させていくことが大事」、「地産地消のエネルギーをみずから作っていく」、「高速道路で環境保全、環境教育をやっているのが北海道にもあります。サービスエリアで、その町で子供たちが巣箱を置いて、そこで環境教育を実施しているということもありませんし、もし作るような場合、そのサービスエリアを地域コンシェルジュのような形にして行うということも1つの可能性」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「減ってしまうような動物。それをまず守ることが当然大事」、「非常に貴重な動物と一般的な自然の生き物はその環境を支えているメジャーですから、その双方を守っていくということが大事」、「40年以上、清里の森を見てきていますが、鹿が急増。昨日も若林の信号のところ鹿が出てきましたが、これの適正な管理が必要」、「特にいろんな生き物がそこにいるだけの環境」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点④:貴重な動物との共存」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「うちの市は本当にすばらしい景観が、山岳あるいは渓谷、農村、それから牧場、高原景観。牧場景観というのも非常に重要」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点②:優れた景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「東京、富士山、うち、それから軽井沢、東京にまた戻っていただく。そのような非常に県内のルートとか、あるいはより広範囲な太平洋、日本海。いろんな地域を結びながら観光というものをより考えていく。そのような日本の視点でも見ていくということが大事」、「芸術家の皆さんが沢山住まわれていますので、その方たちも本当に連携をしながらいければいい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくりに基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市は博物館、美術館、絵本美術館、多様なものがありますので、その辺も観光の目玉としてもご提案していくということも大事」に関しては、まちづくりビジョン(案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然との共生、人との共生」、「道路と我々のくらし、それから多くの動物との共生をどうするかというのが非常に重要な問題」に関しては、まちづくりビジョン(案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和と共生」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書（平成26年6月9日）

自022-87

参考資料 第4回活用検討委員会において把握した団体意見

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	団体名	内容	対応案
2	北杜市観光協会	<p>ただいまキープ協会さんのほうから観光の件についても触れていただきました。私は北杜市観光協会理事の* *でございます。観光協会の立場から意見を述べさせていただきます。かように考えます。</p> <p>この北杜市には非常に、ご承知のとおり観光施設が沢山あります。また景観も非常にいいところばかりでございます。したがって、年間かなりの観光客が来ることは事実でございます。中部横断道ができるとどうなるかというわけでございますけれども、太平洋から、また日本海から人は来るだろうと。したがって、私たち観光協会にとっては願ってまないことだと思っております。ただ、通過点になってしまつては困る。これが私たち観光協会の一歩の、これから努力していかなければならない点だろうと思っております。</p> <p>観光協会の基本的な考え方というのは、中日本高速道路、あるいは国土交通省の考え、計画のとおり賛成でございます。そして早期実現をお願いしたいと、かように考えております。</p> <p>ちょっと観光から離れますけれども、3年前の3月11日、東日本大震災が起きました。そしてかなり渋滞したり、混乱したわけでございます。今度は南海トラフで地震が発生し、そして大津波が来る可能性があるということでございます。南海トラフばかりではなくて首都圏直下型地震。あるいは、こころもそうでございます。静岡糸魚川構造線がこの下を通っているわけでございまして、いつ大きな地震があるかもしれない。そのときの迂回路、あるいは避難路というものは私は作っておく必要があろうと、かように考える次第でございます。</p> <p>先般、一昨年ですけれども、笹子トンネルの崩落事故がございました。中央道はストップ、20号線は大渋滞、52号、141も非常に渋滞をしました。そして約半年から8か月くらい非常に、この山梨県は商工業ばかりでなくて観光も大打撃を受けました。それは中央道だけに頼っているからでございます。天井板の撤去をした後も、その傾向は続きました。この北杜市のペンション、あるいはホテルから観光客が消えてしまいました。そのくらい毎日毎日、全てのものがキャンセルされました。その影響というのは非常に大きい。特に北杜市におきましては、この観光業に携わっている人というのは非常に多いわけでございます。ですから、1本の道路に頼るというのは非常に私は危険である。もしこれが、中部横断自動車道が出れば静岡から入ることができる。あるいは埼玉から群馬へ出て、佐久へ出て、そして中部横断道で入ることができるわけでございます。またその反対のことも言えるわけでございます。したがって、避難路あるいは迂回路として私は中央道だけ1本に頼るのには非常に危険であると、かように考えます。これは観光ばかりじゃなくて商工業、あるいは皆さん方の生活にも密着する非常に重要な問題だと思っております。</p> <p>観光協会で望むことは、北杜市は観光1つ、先ほど言いましたけれども、それから景観が非常にいい。四面山に囲まれております。八ヶ岳があり、甲斐駒があり、そして鳳凰山があり、東には霊峰富士があります。そして金峰山があり、瑞穂山がある。非常にすばらしい景観でございます。したがって、この中部横断道が出たときには大泉、あるいは清里あたりから見た景色というのすばらしいものがあります。この辺にサービスエリア、あるいはパーキングエリアでも結構でございます。また人がそこで見て、ああ、すばらしいな、もう一回来たいなというような場所を作っていただきたい。これは観光協会、切に望むところでございます。</p> <p>それから北杜市は非常に広い。603平方kmあるわけでございますけれども、今蘆峰、須玉、長坂、小淵沢とインターチェンジがございます。恐らく清里ら辺にインターができるだろうと思っておりますけれども、ただ、白州、武川のほうがちょっとおそろしくなってしまう。したがって、この辺のアクセス。ぜひとも道を作っていただきたい。枝があればより結構でございますけれども、ちょっと枝は無理かなというような気がするところがございます。それから北杜市は環境に配慮しなければいけないわけでございますけれども、看板、サイン等についてはできるだけ環境に配慮したものを作っていただきたい。よろしく、これはお願い申し上げます。</p> <p>最後になりましたけれども、通過点にならないように私たち観光協会も一歩懸命頑張ります。市のほうも、あるいは道路の設計等も、ぜひそんなようなことも考えながら作っていただけたらありがたいと思っております。以上です。ありがとうございました。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「通過点になってしまつては困る」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「いつ大きな地震があるかもしれない。そのときの迂回路、あるいは避難路というものは私は作っておく必要があろう」、「中央道だけに頼っているから」、「1本の道路に頼るというのは非常に私は危険である」、「中部横断自動車道が出れば静岡から入ることができる。あるいは埼玉から群馬へ出て、佐久へ出て、そして中部横断道で入ることができる」、「避難路あるいは迂回路として私は中央道だけ1本に頼るのには非常に危険である」に関しては、まちづくりビジョン(案)P14から「基本方針:安全・安心で快適な暮らしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「中部横断道が出たときには大泉、あるいは清里あたりから見た景色というのすばらしいものがあります。この辺にサービスエリア、あるいはパーキングエリアでも結構でございます。また人がそこで見て、ああ、すばらしいな、もう一回来たいなというような場所を作っていただきたい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「恐らく清里ら辺にインターができるだろうと思っておりますけれども、ただ、白州、武川のほうがちょっとおそろしくなってしまう。したがって、この辺のアクセス。ぜひとも道を作っていただきたい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に、「…観光振興に繋がることから、インターチェンジと北杜市全域に広がっている各観光拠点へのアクセス…」を追加します。</p> <p>「北杜市は環境に配慮しなければいけないわけでございますけれども、看板、サイン等についてはできるだけ環境に配慮したものを作っていただきたい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせて頂きます。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-88

参考資料 第4回活用検討委員会において把握した団体意見

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	団体名	内容	対応案
3	北杜市商工会	<p>それでは、北杜市商工会の**です。よろしくお願ひいたします。まちづくりビジョンにつきまして北杜市商工会の立場と意見を述べさせていただきますので、よろしくお願ひします。</p> <p>地元で仕事をしていると当たり前のことですけども、地域の活性化は重要なポイントとなっております。あらゆる角度で、地元にある題材を使って活性化ということを考えている次第であります。商工会としてはパーキングになるのか、中部横断自動車道のおりたところの、例えば道の駅みたいな整備になるのかかわりませんが、集客の拠点となる施設を要望します。地元の物が食べられ、農産物が買えるといった地産地消や産業、地域振興に寄与する施設が必要だと考えております。そういった観点では地域活性化、商業の活性化。そういう視点が内容的に配慮をされるようなものになってほしいと考えております。</p> <p>また企業誘致につきましてですが、本当に今は厳しい時代でそんなに誘致ができるのか。あるいは、それほど大きな面積があるわけではないというふうな形で大規模な誘致は難しいと思いますが、研究所のようなものであればリゾートオフィスの活用できるのではないかと考えております。</p> <p>時代の流れ、先ほど委員長の話ですと、きっかけというお話がありましたけども、チャンスというものは準備しているところにおいてくるとしております。いざというときのチャンスが自分のところに転がり込んでくるようなための準備というのは、常に必要ではないかと思っております。</p> <p>また先日、山日新聞にも出ていましたけども、山梨県の税収というのは、全国で上向いているにも関わらず山梨県は惨たんたる結果となっております。やはりこういふことを考えますと自然と必要なものは、やはり作っていくべきではないかと思っております。</p> <p>集客施設については先ほどの事例にもちよつとありましたが、スマートインターやハイウェイオアシスの形で整備する方法もあるのではないかと考えております。例えば上信越自動車道の小布施ハイウェイオアシスほど大規模じゃなくてもいいですけども、そういった集客施設があるとよいと思います。その際には観光の視点、先ほど前方のお2人も述べてましたけども豊かな景色を満喫できる。この地域を生かしたようなものを絡めて、北杜のすばらしさを眺望できるところを整備していただきたいと思ひます。</p> <p>また商工会の話をしさせていただきますと、各店舗で自慢の商品やサービス、人材を掘り起こしながら進めるという一店逸品運動というものを行っております。この中で一店逸品カタログというのを作っていました。このカタログと、また観光とを結びつけるようなことも考えればいかなと思っております。地域の魅力のあるお店の情報発信をして周遊滞在型、観光を促進する一助になればと考えております。</p> <p>また新しい芽として、六次産業化やブランド作りなどということも新しく進めております。これも物流とは切っても切れない関係になっていると思っております。</p> <p>また商工会では、個店のスキルアップの北杜おもてなし支援事業といった事業にも取り組んでおります。東京オリンピックの誘致時のフレーズとしても有名となったおもてなしという心をもって、地域の活性化などに取り組んでいくといったことを、どこかに盛り込んでいただくとありがたいと思っております。</p> <p>さて、道路自体の話になりますけども、中部横断自動車道自体は利用者の視点で走っていて楽しいと感じる道路、眺望や景観を活用した道路として整備していただきたいと思っております。そうすることでいい景色だからおりにてみたいと思わせ、北杜市を訪れてもらうことが重要だと思っております。ですので、トンネルだらけの道路といったものはやめていただきたいと思っております。</p> <p>先日の大雪のときにもニュースになりましたけども、山梨県全体が陸の孤島と呼ばれておりました。医療や防災面からも、国道141号の代替道路として中部横断自動車道は必要であると考えております。以上です。どうもありがとうございました。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「パーキングになるのか、中部横断自動車道のおりたところの、例えば道の駅みたいな整備になるのかかわりませんが、集客の拠点となる施設を要望します」、「地元の物が食べられ、農産物が買えるといった地産地消や産業、地域振興に寄与する施設が必要だと考えております」、「企業誘致につきましてですが、本当に今は厳しい時代でそんなに誘致ができるのか。あるいは、それほど大きな面積があるわけではないというふうな形で大規模な誘致は難しいと思いますが、研究所のようなものであればリゾートオフィスの活用できるのではないかと」に関しては、まちづくりビジョン(案)P17地域活性化「視点②:商工業の活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「集客施設については先ほどの事例にもちよつとありましたが、スマートインターやハイウェイオアシスの形で整備する方法もあるのではないかと」、「中部横断自動車道自体は利用者の視点で走っていて楽しいと感じる道路、眺望や景観を活用した道路として整備していただきたい」、「いい景色だからおりにてみたいと思わせ、北杜市を訪れてもらうことが重要」、「トンネルだらけの道路といったものはやめていただきたい」に関しては、まちづくりビジョンを策定した後、ビジョンを達成するための道路プラン策定の際の参考意見とさせていただきます。</p> <p>「豊かな景色を満喫できる。この地域を生かしたようなものを絡めて、北杜のすばらしさを眺望できるところを整備していただきたい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P19観光「視点②:豊かな景色を満喫できる場の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「各店舗で自慢の商品やサービス、人材を掘り起こしながら進めるという一店逸品運動というものを行っております。この中で一店逸品カタログというのを作っていました。このカタログと、また観光とを結びつけるようなことも考えればいかなと思っております。地域の魅力のあるお店の情報発信をして周遊滞在型、観光を促進する一助になれば」に関しては、まちづくりビジョン(案)P19観光「視点③:周遊・滞在(型)観光を促進する情報発信の工夫」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「六次産業化やブランド作りなどということも新しく進めております」に関しては、まちづくりビジョン(案)P16地域活性化「視点①:六次産業化・農業と観光の融合による地域活性化」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「個店のスキルアップの北杜おもてなし支援事業といった事業にも取り組んでおります。東京オリンピックの誘致時のフレーズとしても有名となったおもてなしという心をもって、地域の活性化などに取り組んでいくといったことを、どこかに盛り込んでいただくとありがたい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「医療や防災面からも、国道141号の代替道路として中部横断自動車道は必要である」に関しては、まちづくりビジョン(案)P14くらし「基本方針:安全・安心で快適くらしのため」に基づき、取り組んで参ります。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-89

参考資料 第4回活用検討委員会において把握した団体意見

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	団体名	内容	対応案
4	ハケ岳青年会議所 シニアクラブ	<p>こんにちは、私はハケ岳青年会議所シニアクラブの**と申します。青年会議所というのは年齢が40歳で卒業するというので、あれからかれこれ20年以上たちますけども、我々が現役で青年会議所活動をしてきたときに沿線JCということで静岡、山梨、長野、新潟——何路あったかちょっと今記憶にないですが、その青年会議所同士が手を取り合い、中部横断の早期実現ということで何か期成同盟を作った記憶があります。あれから二十何年たっておりますが、我々シニアクラブとしては、中部横断自動車道がもし今計画が発売したとしてもあと15年ぐらいかかるとすれば、私の人生の中で40年間かけてやっと中部横断ができるのかなという思いがしております。早期実現ということで話をさせてもらいます。この市からいただきました、まちづくりビジョンを拝見させていただきました。4つの大きな方針が示されています。この方針に従った形で箇条書きで意見と申しますか、感想を述べさせていただきます。</p> <p>まず第1に環境と景観ということですが、我々としては中部横断自動車道の整備によって、特に高根や清里がもっと発展してほしいという思いがあります。その中で北杜市の売りは何かというと、先ほど言いましたように山岳景観ということで高根からの眺望でハケ岳、金峰山、富士山、南アルプス、一望できる絶好な場所だと思っています。北杜市でも、本当に一番絶景と言えるような地域ではないかと思っております。我々はもう60年以上高根に住んでいるんですが、もう当たり前のような景色で見ているんですが、よそから来た人は非常に美しく見えるのではないかと思っております。これらの自然環境資源を守りながら活用していくことが大事だと思います。加えて高速道路ということで大型車の騒音とか、夜間の自動車のライト、照明による光害——光の害ですが、非常にこれは懸念をしております。そういった視点も非常に視野に入れておいてもらいたいと思います。</p> <p>次にくらしについてですが、先ほど言われたように防災とか医療とかも非常に大事だと思いますが、やはり次世代の子供たちが高速道路を使って潤っていかないと意味がないと思います。一方で今回の大雪で孤立してしまった地区もあるんですが、高速道路の重要性も改めて実感したところです。まちづくりビジョンのくらしというところには、災害時の迅速な復旧に加え、そういった緊急時における生活道路としての活用といった観点が盛り込まれるとよいのかなと思っております。</p> <p>次に地域活性化ですが、これが一番重要だと考えています。このまちづくりビジョンの地域活性化のところに書いてありますが、これからは体験型農業が地域活性化の1つのキーワードになるのではないかと思います。これは中部横断の首都圏、中京圏、また常磐のほうですか、そのアクセスが非常に向上すると思います。また農業自体が北杜市の基幹産業でありますので、先ほどモニターチェンジとかスマートインターという感じのところへ、道の駅とかサービスエリアで農産物の直売等ができるような形にしてみたい、なおありがたいと思います。</p> <p>最後に観光ですが、先ほど観光協会の方が話しておりだと思っております。活性化と関連するんですが、我々としては農業が観光だと思っています。今の基盤整備した田園風景が非常にきれいな北杜市ではないかと思っています。体験型農業を通じて、地域に活性化していく力が十分北杜市にはあると思います。また高速道路と市内の各地域が先ほど枝を出すような道と言われましたが、やっぱりそこも大事ではないかとは思っています。道路があるだけではダメなのですが、企業さんとか、自分たちとか、いろいろ観光協会さんと同じような考え方で、やはりいろいろな魅力ある拠点を作っていただきたいと思います。このまちづくりビジョンが非常にいいものになっていると思いますので、ぜひ次世代の若い人たちに夢と希望が与えられる道になるように希望して、意見とさせていただきます。以上です。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「中部横断自動車道の整備によって、特に高根や清里がもっと発展してほしい」、「次世代の子供たちが高速道路を使って潤っていかないと意味がない」に関しては、まちづくりビジョン(案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「北杜市の売りは何かというと、先ほど言いましたように山岳景観ということ」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点②:優れた景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「自然環境資源を守りながら活用していくことが大事」に関しては、まちづくりビジョン(案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和と共生」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路ということで大型車の騒音とか、夜間の自動車のライト、照明による光害——光の害ですが、非常にこれは懸念をしております」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点③:良好な生活環境への配慮」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「まちづくりビジョンのくらしというところには、災害時の迅速な復旧に加え、そういった緊急時における生活道路としての活用といった観点が盛り込まれるとよい」に関しては、まちづくりビジョン(案)P15くらし「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「体験型農業が地域活性化の1つのキーワードになるのではないか」、「体験型農業を通じて、地域に活性化していく力が十分北杜市にはある」に関しては、まちづくりビジョン(案)P16地域活性化「基本方針:魅力あふれる元気なまちを目指して」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「農業が観光だと思っています」、「道路があるだけではダメなのですが、企業さんとか、自分たちとか、いろいろ観光協会さんと同じような考え方で、やはりいろいろな魅力ある拠点を作っていただきたいと思います」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「今の基盤整備した田園風景が非常にきれいな北杜市ではないかと思っています」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点②:優れた景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「高速道路と市内の各地域が先ほど枝を出すような道と言われましたが、やっぱりそこも大事」に関しては、まちづくりビジョン(案)P18観光「視点①:観光拠点へのアクセス」に、「…観光振興に繋がることから、インターチェンジと北杜市全域に広がっている各観光拠点へのアクセス…」を追加します。</p>

「北杜市」からの文書 (平成26年6月9日)

自022-90

参考資料 第4回活用検討委員会において把握した団体意見

対応案の赤字記載箇所は、ビジョン修正対応案

No.	団体名	内容	対応案
5	中部横断自動車道 八ヶ岳南麓 新ルート沿線住民の会	<p>それでは、改めて沿線住民の会***です。本日は私たちに意見を発表する機会を作っていたんで、どうもありがとうございます。沿線住民の会からは2人、意見の発表を行いたいと思います。私たちがこういう場で意見を表明するのは初めてなので、私のほうは沿線住民の会の基本的な考え方を皆さんにお知らせしたいと思います。お手元にある資料を読みながら説明したいと思います。</p> <p>私たちが中部横断自動車道八ヶ岳南麓新ルート沿線住民の会は、八ヶ岳南麓を横断する中部横断自動車道の新しいルート案に反対し、国道141号の改良・整備を求めています。その理由は大きく分けて2つあります。</p> <p>まず第1に、私たちは新ルートが決定される過程とルートの選定について問題があると考えています。中部横断道の新しいルートは、ご存じのように昨年11月21日に第1回ワーキンググループで決定されて、新聞発表されました。しかしこの決定は、新ルートの予定地内の住民には一切知らされることなく行われました。こういうことについては、私たちは到底承服することはできません。さらに新ルート案はA案とB案と、あたかも2つのルートが示されるように説明されていますけれども、そういうことはありません。その中身は複数案の提示とは言えません。長坂から津金までは1本のルートで、その先が分岐しているだけのものです。そこに、長坂から津金に住んでいる住民にとっては全く選択の余地のないルートなんです。そういうことをはっきりと書いて、訴えたいと思います。</p> <p>私たちは、北杜市では中部横断道について反対、それから推進、それ以外のいろんな意見があることについては十分理解しています。だからこそ昨年の国交省による地元説明会が終わった後に、反対や推進、その他の立場の住民が集まって高速道路が本当に必要なか、新ルート案のA・B案がいいのか、それに代わるルート案はないのか。そういうことを検討する、そういう場を作るように国や北杜市に要請してきました。やはり物事を決めるにあたっては、特にこういう大きな事業を進めるにあたっては、みんなが知恵を出し合っていることをあれこれ議論の中で決めていく。そういうプロセスが非常に大事です。それなしには、やはりみんなの理解というのは得られないというふうに考えています。しかしながら、私たちのこの提案は国交省と北杜市から拒否されました。そして活用検討委員会が作られて、まだB案が決定されていないにも関わらずB案を前提とした議論が進められ、B案を既成事実としてしています。こういうことについては大変遺憾に思っています。</p> <p>第2には、新ルート案により八ヶ岳南麓の自然環境や景観が取り返しのつかないほどダメージを受け、観光業だけじゃなく、その恩恵を受けている住民の生活が大きく脅かされると、そういうふうな点です。日本の3,000m級の山で、南麓がこれほどならかな扇状地形を形成しているところは八ヶ岳以外には見当たりません。本当に貴重と言うべき自然環境を育み、すばらしい景観を形成しています。豊富な湧き水、それから豊かな森林ときれいな空気、季節の移ろいとともに変化を見せる田園風景、そこから眺める山々、こういうものが観光や、さらに移住という形で人々をずっと引きつけていると、今なお引きつけていると、そういうことをぜひご理解いただきたいと思えます。だからこそ八ヶ岳南麓には全国各地から移住者や、さらには別荘を求める人が多く、別荘だけでも1万件を超えるという数字も報告されています。ここで生まれ育った住民の方にとっては当たり前のごいいう風景、自然、環境が、別の視点から見るととても大切な財産と見えるわけです。その魅力というのは非常にかけがえのないもので、それを感じている人が多いということをぜひご理解いただきたいと思えます。</p> <p>中部横断自動車道の新しいルートは、そのような自然環境と景観を破壊する。そういうものです。日本の国、それから山梨県、北杜市にとってかけがえのない八ヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧き水、生活環境などを含む環境全体を悪化させる。破壊するおそれがあります。そのために私たちは、そういう八ヶ岳南麓を横断する新ルート案の見直し、そして現道——既存の道路です。それを活用した道路総合整備に基づく国道141号の改良・整備を求めているんです。国道141号の改良というのは、これは昔から地元の人々の長い間の願いであります。国交省のアンケートでも、これは半数以上の方が141号の改良を支持しているというふうな結果が出ています。したがって、この141号の改修をメインにしたルートの選定の見直しということをお願いしたいと思います。</p> <p>最後に、この活用検討委員会は新ルートB案を前提とするような、そういう狭い議論を進めるんじゃないやなくて、高速道路建設については是非、ルート案など広範に検討する幅広い議論の場として、北杜市民の様々な意見ですね。それを反映しながら地域にとって一番いい方案を検討していただきたい、というふうに思っています。</p> <p>それから最後に付け加えますと、先ほど来、意見表明される方が全然触れなかったんですけども、平成26年2月に北杜市が作った道路整備基本計画の中。これ、まちづくり計画とも関連するんですけども、この中に基本目標として安全・安心の確保ということがうたわれています。私たちはこのことが非常に大事だと思います。この大書でも明らかになったように、まちづくりの課題はそこに住む人々の安全・安心が守れること。これがまず最優先されることじゃないかと思えます。そのような視点から、高速道路の問題もぜひ見直していただきたいというふうに考えます。以上です。</p> <p>大泉町の*です。2枚目の文章を読み上げて提案にします。</p> <p>中部横断道八ヶ岳南麓新ルートへの反対運動のことを述べます。昨年1月から5月までの短期間で1万人以上の反対署名が集まりました。そして1年間の支援カンパ総額は250万円を超えています。これは八ヶ岳南麓に高速道路を通してほしくないという地域住民の強い意思のあらわれだと考えています。</p> <p>活用検討委員会については、進め方について問題があると感じています。新ルートB案前提で進められていることから議論が拘束されています。高速道路建設には犠牲になる住民がどうしても出ます。その犠牲になる住民が納得できない現状で活用検討委員会を進める形は、まさに犠牲になる住民を置き去りにしていると言わざるを得ません。このような形で地域の活性化を目標にするまちづくりビジョンは、よいものにならないのは自明なことです。</p> <p>八ヶ岳南麓は豊かな自然、温暖な気候、豊富な湧き水に恵まれて多くの新住民が暮らしています。その人たちは高速道路新ルートの突然の出現に反対です。そして数十年前から地域の活性化のため、中部横断道推進の運動をしてきた人たちは賛成です。この地域住民のあつれきは国交省の地元説明会でもあらわれました。この問題を解決しない限り、まちづくりビジョンは絵に描いたものになってしまいます。北杜市当局はこの住民間の亀裂について問題意識を持ち、解決に向けて努力をする必要があると思えます。</p> <p>最後に、地域の活性化と私、***個人の関わりを述べます。ここ大泉に移住して13年になります。畑仕事をやるようになって、甲斐大泉駅にある農産物直売所・パノラマ市場の役員になって9年になります。4期目の2年間は会長の役割にもつきました。パノラマ市場の昨年の売上高は5,000万を超えています。レジスターを通してそれだけの金額が八ヶ岳南麓地域に流れたということです。そして新住民の生産者同士のコミュニケーション、お客さんとのコミュニケーションの場所ともなっています。ここにいらしゃる活用検討委員会の皆さんに負けぬ形で、地域の活性化に寄与していると自負しています。八ヶ岳南麓の豊かな自然環境が気に入ったので、昨年4月には新居を作りました。突然提案された新ルート1km幅のちょうど真ん中にあります。国交省の新ルート提案の内容、方法にどうしても納得できないで今日に至っています。以上です。ありがとうございます。</p>	<p>頂いたご意見の中で、「国道141号の改良・整備」に関しては、まちづくりビジョン(案)P15くらゐ「視点②:くらしやすさの向上」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「新ルート案により八ヶ岳南麓の自然環境や景観が取り返しのつかないほどダメージを受け」、「日本の3,000m級の山で、南麓がこれほどならかな扇状地形を形成しているところは八ヶ岳以外には見当たりません。本当に貴重と言うべき自然環境を育み、すばらしい景観を形成しています。豊富な湧き水、それから豊かな森林ときれいな空気、季節の移ろいとともに変化を見せる田園風景、そこから眺める山々」、「中部横断自動車道の新しいルートは、そのような自然環境と景観を破壊する」、「八ヶ岳南麓の自然環境、豊富で優良な湧き水、生活環境などを含む環境全体を悪化させる。破壊するおそれがあります」、「八ヶ岳南麓は豊かな自然、温暖な気候、豊富な湧き水に恵まれて」に関しては、まちづくりビジョン(案)P12環境・景観「視点①:豊かな自然環境との調和と共生」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「観光業だけじゃなく、その恩恵を受けている住民の生活が大きく脅かされる」に関しては、まちづくりビジョン(案)P14くらゐ「基本方針:安全・安心で快適な暮らしのために」、P18観光「基本方針:にぎわい創出玄関口づくり」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「この地で生まれ育った住民の方にとっては当たり前のごいいう風景、自然、環境が、別の視点から見るととても大切な財産と見える」に関しては、まちづくりビジョン(案)P13環境・景観「視点②:優れた景観の保全」に基づき、取り組んで参ります。</p> <p>「平成26年2月に北杜市が作った道路整備基本計画の中、これ、まちづくり計画とも関連するんですけども、この中に基本目標として安全・安心の確保ということがうたわれています。私たちはこのことが非常に大事だと思います」、「まちづくりの課題はそこに住む人々の安全・安心が守れる」に関しては、まちづくりビジョン(案)P14くらゐ「基本方針:安全・安心で快適な暮らしのために」に基づき、取り組んで参ります。</p>